

□大根のマルチ引き(①列目)

- 施肥：化成8号、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
- マルチ9230をひく

できるだけ3/12まで

マルチ引き手順 自信がない方は指導しますのでお声がけください

- ①採寸し、うね両端に間縄を引く
- ②間縄の内部に施肥した後、レーキで肥料をうね全体に混ぜる
- ③うねを塩ビパイプ等を使って平らにする  
(凸凹にすると水が溜まります)
- ④うね全周を掘る

通路部の30cmは必ず確保ください(スコップ幅分)

慣れないうちは角スコップを使うと楽です。

注1.土はうねに垂直に掘り、土はうね外側によける

注2.4隅部をしっかりと掘る

- ⑤マルチを覆い、左右に引っ張りながら溝に埋め込む  
しわが出ないようにマルチの縁をしっかりと押し込む。

※工程⑤の後の微調整

隅部は溝をしっかりと掘りマルチを埋め込みます

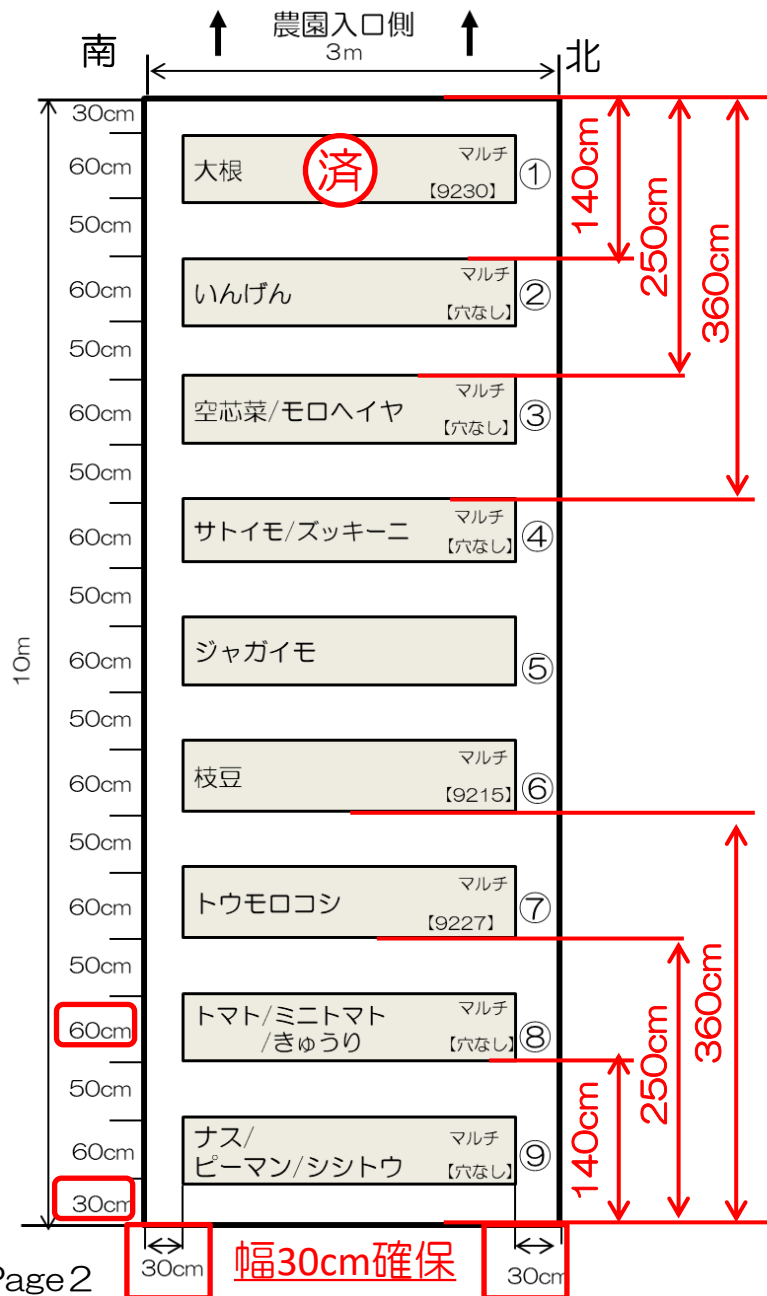


30cm分が通路となります

間縄  
作業後は片付けます

最後にマルチの縁を押し込むと  
きれいに張れます

# 体験農園(小牧園)講習会 令和5年度 春のマルチ引き 2023/3/1~4/16



①列：大根以降のマルチひきです

これ以降肥料は全て同一です **マルチの種類に注意**  
優先順位が高い順番に記載しています

□トウモロコシのマルチひき(⑦列目)

- 施肥：野菜名人、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
- **マルチ9227大**をひく

3/27まで

□枝豆のマルチ引き(⑥列目)

- 施肥：野菜名人、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
- **マルチ9215**をひく

4/2まで

□いんげんのマルチ引き(②列目)

- 施肥：野菜名人、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
- **穴なしマルチ**をひく

□トマト/きゅうり(⑧列目)

- 施肥：野菜名人、アズミン、石灰 各1杯(約200g)
- **穴なしマルチ**をひく

**※できるだけマルチ幅60cmを確保するように！**  
**狭いと支柱立て/植付の際、苦労します**

□ナス/ししとう/ピーマン列(⑨列目)

- 施肥：野菜名人、アズミン、石灰 各1杯(約200g)
- **穴なしマルチ**をひく

4/9まで

□イモ類/ズッキーニ(④列目)

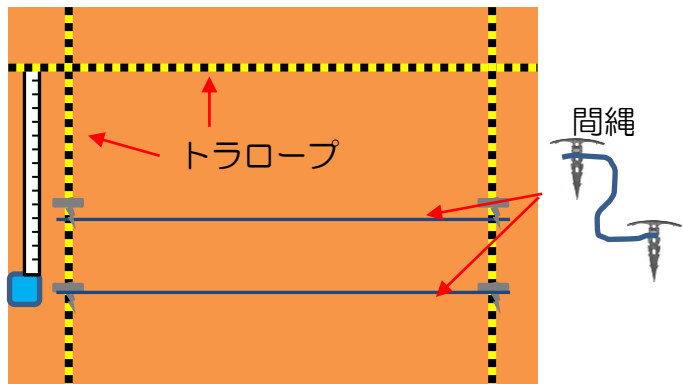
- 施肥：野菜名人、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
- **穴なしマルチ**をひく

□空芯菜/モロヘイヤ(③列目)

- 施肥：野菜名人、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
- **穴なしマルチ**をひく

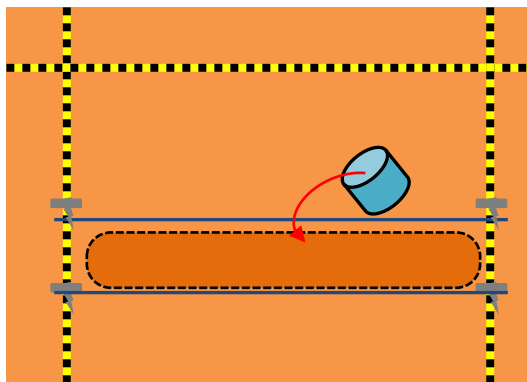
4/16まで

①

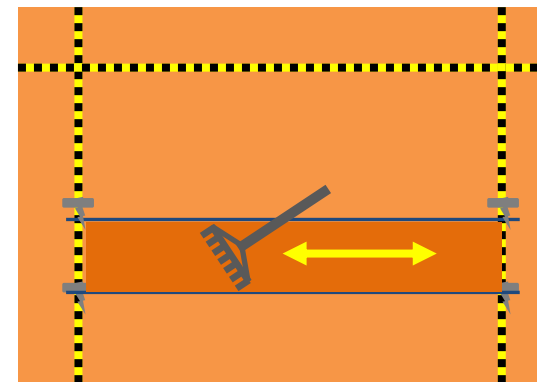


トラロープを基準に、寸法をはかります  
うねの両端に間縄をひきます

②

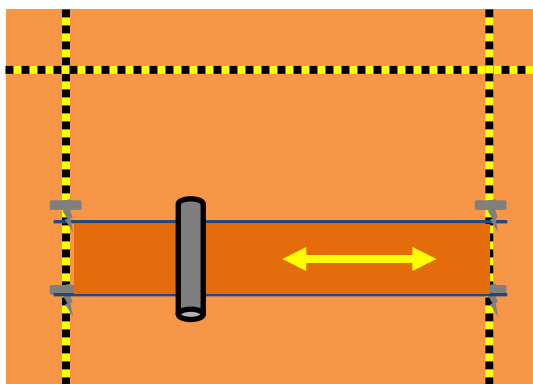


間縄の間に肥料をまきます



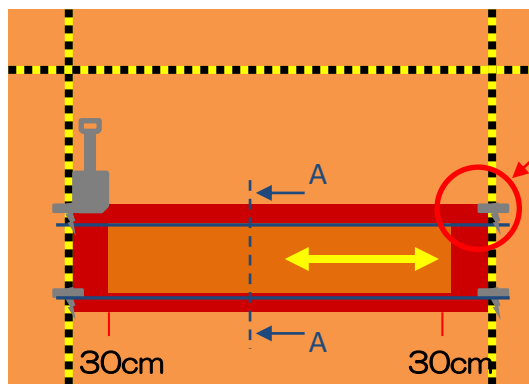
レーキ等で肥料をなじませます

③



塩ビパイプで表面を平らにします  
※表面が凸凹していると  
マルチに水が溜まります

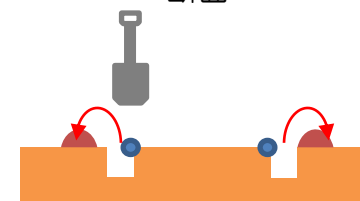
④



間縄周囲に溝を掘ります。慣れない方は  
角スコップがお勧めです  
通路分30cmを確保ください  
※角スコップ幅が30cmの目安です

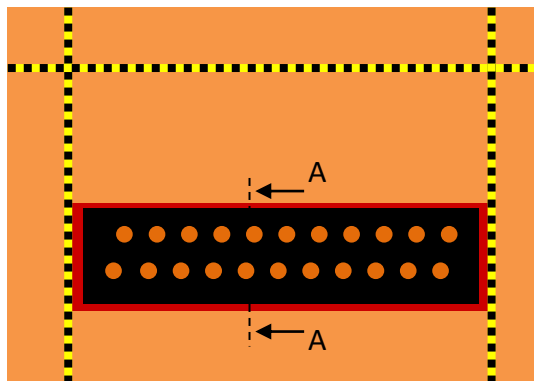
特に4隅をしっかりと掘ります

断面A

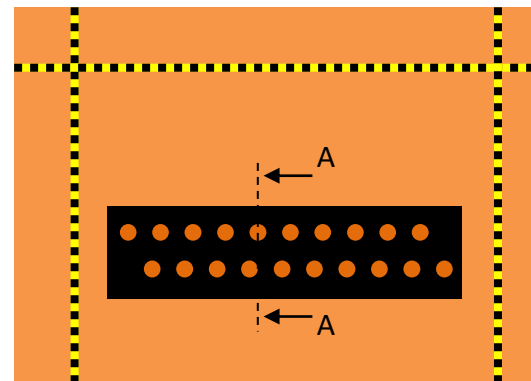
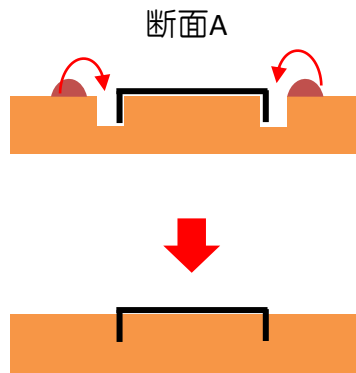


土は間縄の外側によけます

⑤



間縄を外し、マルチをかぶせます

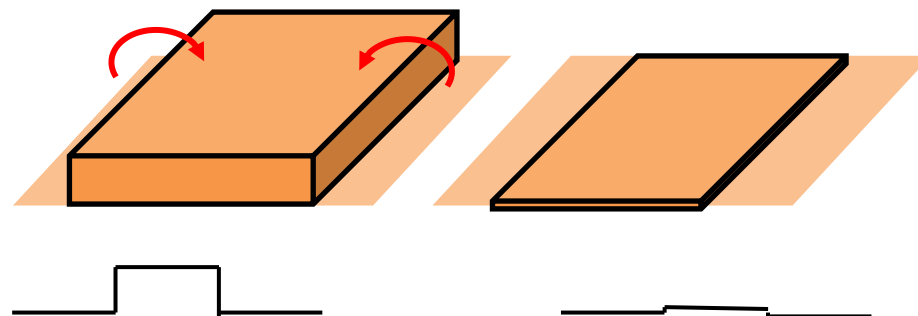


マルチにしわが入らないよう、左右に引っ張りながら溝に土を埋め込みます

補足

うね(畝)の作り方は大きく分けて、高うね/平うねがあります。当農園は水はけがよいため、平うねで行っております。無理に高うねにする必要はありません。本資料でおわかりの通り、当農園では高うねの作り方の指導は行っていません

希望する方は高うねにしても構いませんが、マルチ側面の埋め込みが甘いと風で飛びやすくなるので、注意してください。



高うね

土を10~15cmくらい高く盛り上げる

平うね

地面の高さのまま  
※外周は通路として踏み固められるため、見た目3~5cmくらい高くなる

## 「各種肥料について」

本資料はHPのみ掲載です

第一回講習では「畑づくり」では堆肥(農園側で実施済み)、「ジャガイモ植え」では配合肥料撒きといった作業があります。同じように感じるかもしれませんが、それぞれ目的が異なります。

「畑づくり」の堆肥/石灰撒きは、**土壌を調整する**ことが主な目的です。

- 堆肥：土の保肥性/保水性/通気性等を高めたり、土中の微生物の活動を活発にすることで、土中の環境を良くする優れた「土壌改良材」としての働きをします。
- 石灰：土壌酸度を酸性→アルカリ性に変え、野菜が育ちやすいような酸度に調整します。

「ジャガイモ植え」の配合肥料撒きは、**野菜が成長するのに必要な栄養分を与える**ことが目的です。野菜に必要な三要素(窒素：N、リン：P、カリ：K)を与えます。

どちらも畑の状態により適正量が異なるため、本講習で示した量がそのまま他の畑(市民農園等)で使えるというわけではありません。ご注意ください

## 「マルチとは」

マルチとは正式には「マルチング」と言い、土の表面をポリフィルム等で覆う作業を意味します。マルチを行う効果は、以下の通りです。

- ①地温を調整する
- ②土壌水分を保持する(乾燥防止)
- ③雑草の防除
- ④土の跳ね返りを防ぐ(病害防除)

色も、黒/透明/シルバー等があり、それぞれ以下の効果が優れているという特徴があります。

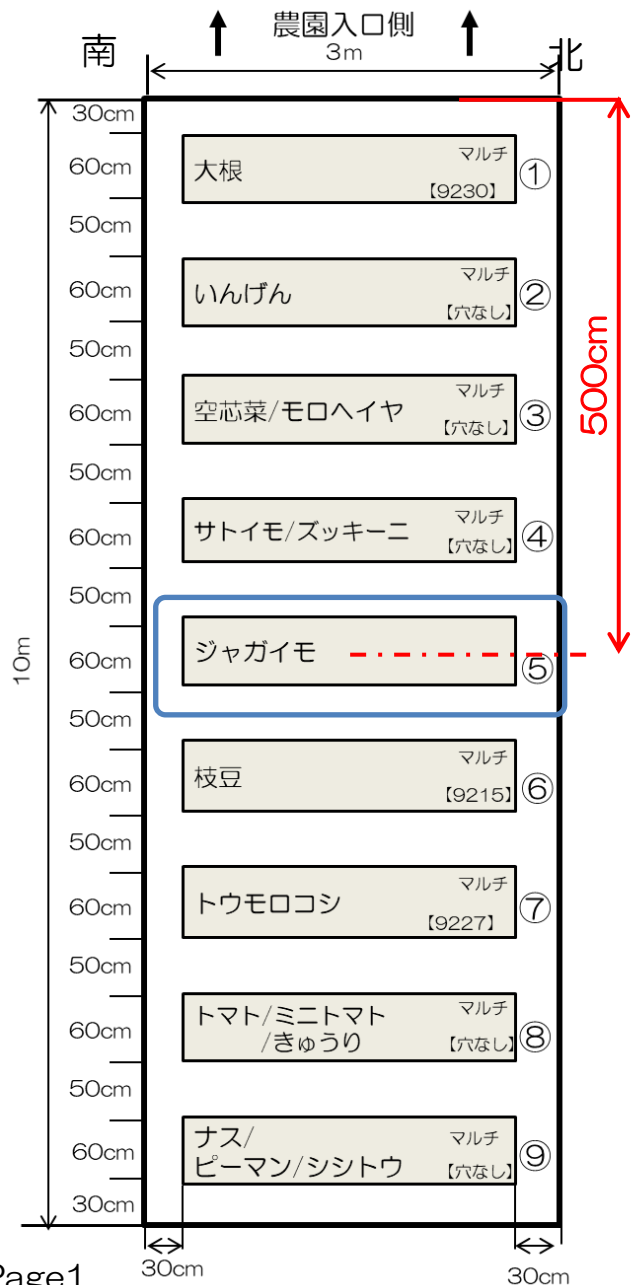
黒：雑草防除 / 透明：地温調整 / シルバー：アブラムシ防除

当農園では雑草防除の効果が高い、黒のポリフィルムを多く使用していますが、トマト/ナスを植えるところは、アブラムシ防除のため、銀(シルバー)マルチを使用する場合があります。

ちなみに、マルチ9230の「9230」とは、マルチの種類を示しており、9→95cm幅/2→2列/30→30cm間隔を意味しております。カブ等で使う9415は、95cm幅/4列/15cmとなります。

当講習では、マルチ→穴なしマルチ、マルチ9×××→穴ありマルチと呼びます。2種類以上のマルチ引きがある場合、間違えないように注意してください。

注：詳細は講習当日の指示に従ってください



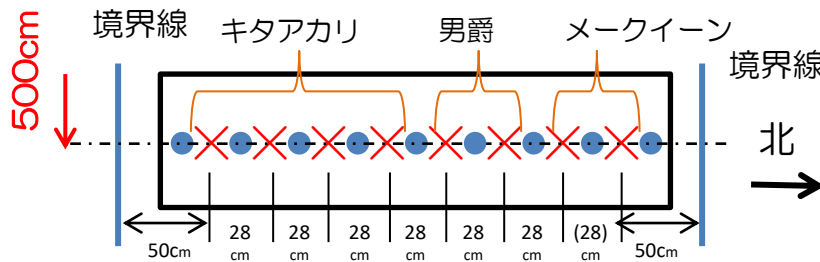
□畑づくり(区画全体)

- 施肥：堆肥 4袋(45kg) 鶏糞2袋(30kg)
- ※2月中に耕耘機にて混ぜ込み済です。

□ジャガイモの植付け(③列目)

キタアカリ：2個(4か所)、男爵：1個(2か所)  
 メークイーン1個(2か所)

- 種イモ切り(1/2にカット) ※芽があるところを残す
- **×指示部**に深さ約10cm程度の深さの穴をスコップで掘り、種イモを植え付ける(28cm間隔)
- 施肥(肥料：**野菜名人**) 1杯 → ●部に均等に撒く

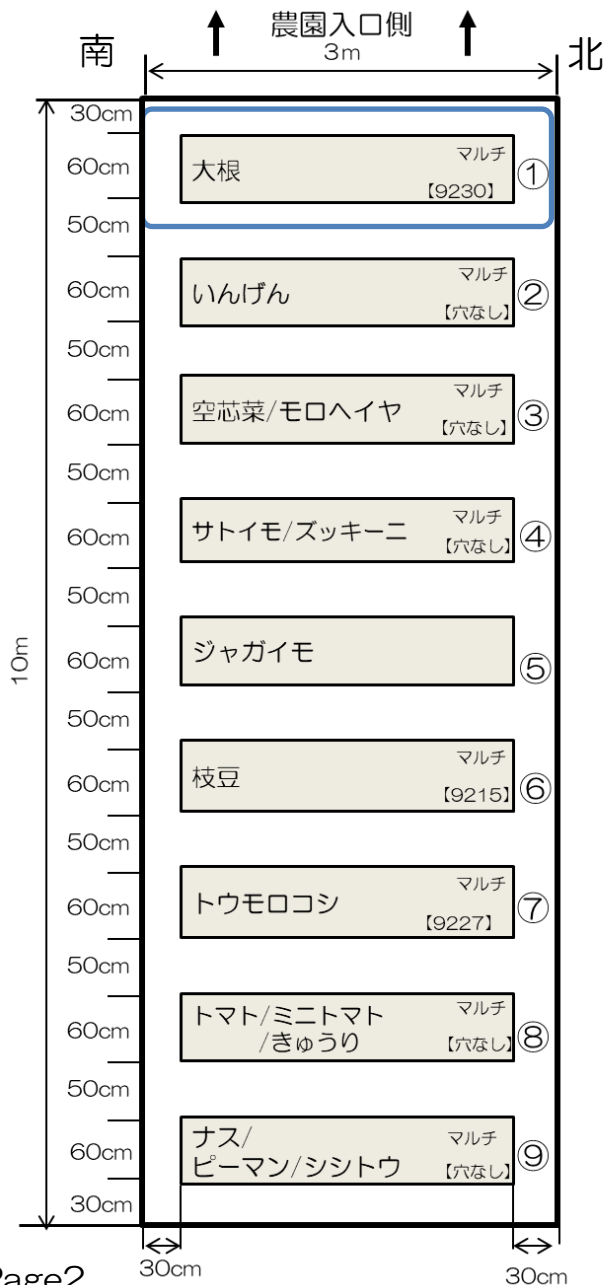


※標準は30cm間隔ですが、種イモを効率よく使えるよう間隔を狭めています。

注1. **区画/作付け位置に注意し、植付を行ってください。**

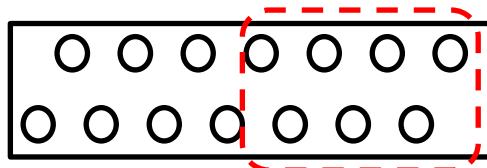
注2. 畝(うね)の作成や植付時に寸法を測る場合、**区画の境界線(トラロープ)を基準**としてください。  
 区画内/区画間の通路が確保できなくなるためです。

注：詳細は講習当日の指示に従ってください

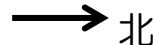


種まきは極力、マルチをひいて1週間ほど経過したのちに撒くようにしてください

- 大根の種まき(①列目) 品種：天寶(てんぼう)
- マルチ引き→春のマルチひき資料を確認ください
  - 種まき(半分/北側) **1穴4粒**



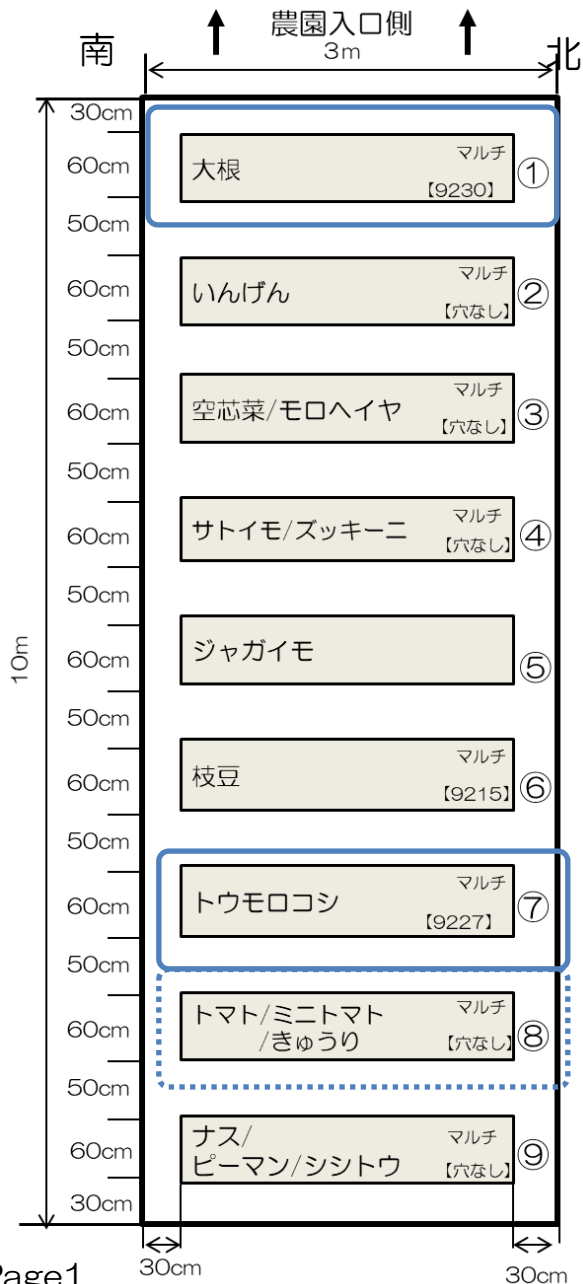
マルチ穴



種を1か所に固まらないよう、ばらして撒きます  
事前に4つ穴を開けると楽です

※最初の種まきから1週間後位に残りの種をまきます。

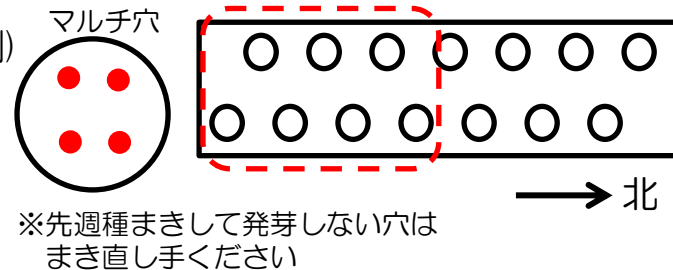




□大根の種まき(①列目)

- 種まき(残り半分/南側)
- ※1穴4粒

種を1か所に固まらないよう、ばらして撒きます  
指で4つ穴を空けると楽です



□トウモロコシのマルチ引き(⑦列目)→マルチ引き資料参照

- 3/26までに終了させてください

□トマト支柱立て(マルチがひき終わった方)

継続者の方：順次開始してください  
新規入園者：4/1以降順次指導します

注

3/25-26は指導はお休みします。  
大根種は4/2までに撒き切るようにしてください。

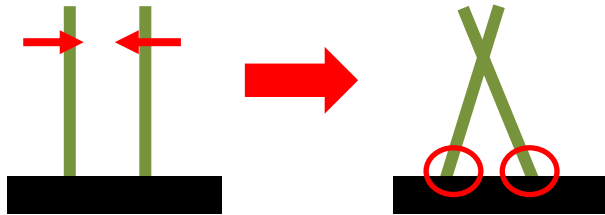


## トマト支柱たて作業要領(貸出資料)の通り作業ください

今年度より各自都合のよい時間帯に行って構いません(1年目の方を除く)

- 間縄を使わず採寸する → 支柱位置が大きくなります
- 縦棒を全て立ててから横棒を乗せる → 支柱が折れて使えなくなります(厳禁行為)
- 縦棒を横棒の上側で交差させる → トマト等の重さに耐えられなくなります

NG例



強引に曲げると・・・

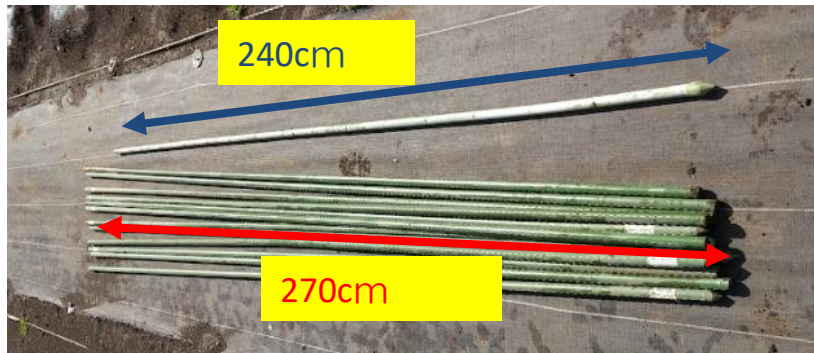
根本が曲がります



強引に曲げてしまうと支柱が曲がってしまい  
次年度使えなくなってしまいます・・・

下段240cm/上段270cmが収納されています

極力270cmを使ってください(270x12本、240x1本)



# 体験農園(小牧園)講習会 トマト支柱たて作業要領

## ① 道具の準備

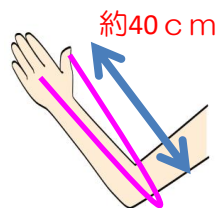
### ①-1 道具の準備

個人ボックスから以下を準備する

- ・メジャー
- ・間縄2セット

### ①-2 ビニール紐準備

60~80cmの紐を14本準備する



腕1巻分でおおよそ80cmです

### ①-3 支柱準備(横棒1本、縦棒12本、計13本)

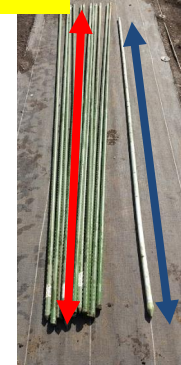


270cm

240cm

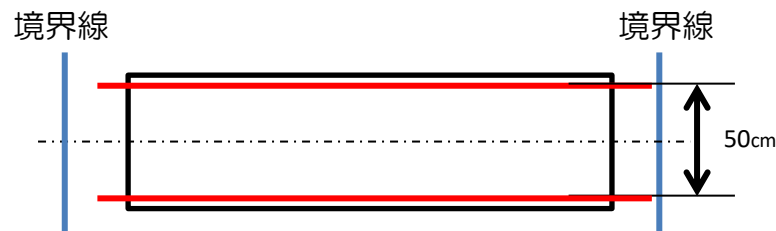
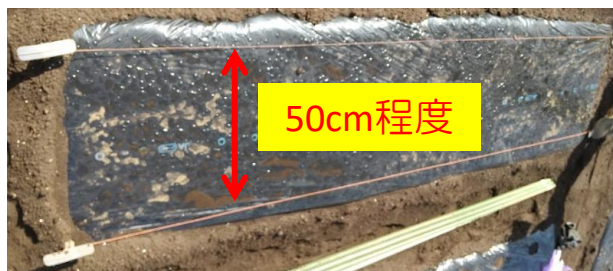
270cm

240cm



※支柱は2種類あります。最初の方に作業される方は270cm12本、240cm1本をお持ちください。270cmがなくなった時点で、縦棒も240cmを使用ください

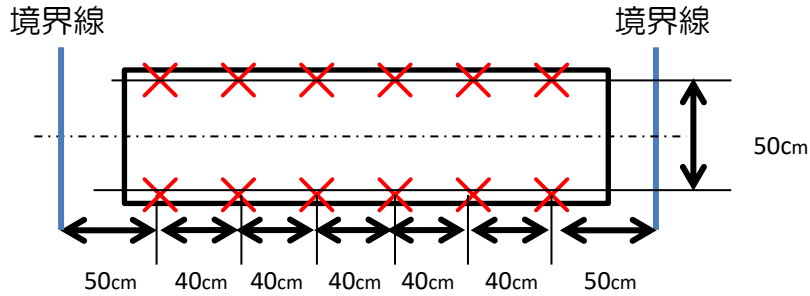
## ② マルチ引きで使用した間縄を2本張り、支柱を立てる幅位置を決める



※幅の寸法はマルチの幅ぎりぎりか少し内側になる位置にします

# 体験農園(小牧園)講習会 トマト支柱たて作業要領

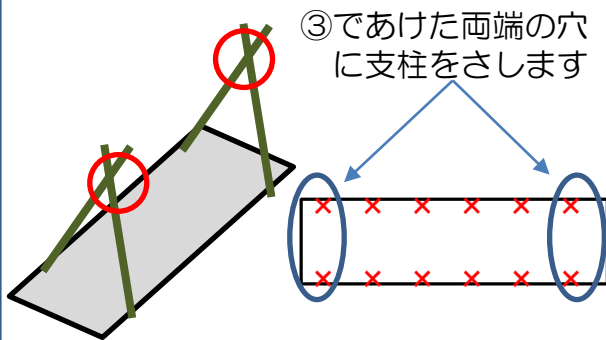
③支柱を立てる箇所(×位置)を採寸し、縄上に指などでマルチに穴をあける



※本来の植付は50cm間隔ですが、トマト類の植付本数を増やすため、本農園では40cm間隔としています。



④両端の支柱(縦棒)を、交差させた状態で穴にさし込み、ビニール紐で**仮止め**する。



概ね頭の上位の高さで交差させる

交差させた状態で地面に差し込む

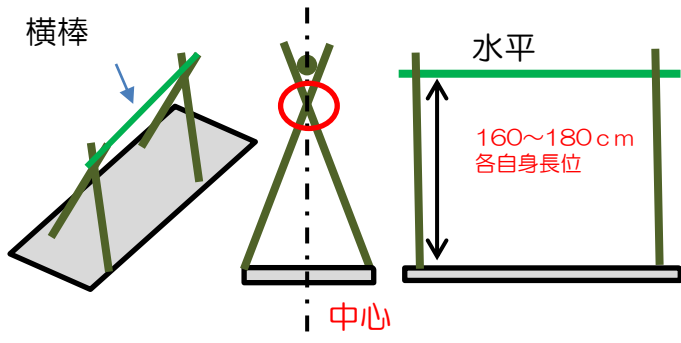


※本作業で支柱を強引に曲げないように注意すること



# 体験農園(小牧園)講習会 トマト支柱たて作業要領

⑤上方に支柱(横棒: : 240cm)をのせ、マルチ中心位置、水平位置を調整し、ビニール紐を本締めする。  
高さは作業者の身長が目安です。あまり高いと収穫時に手が届かなくなります。



3本まとめてビニール紐で本締めする

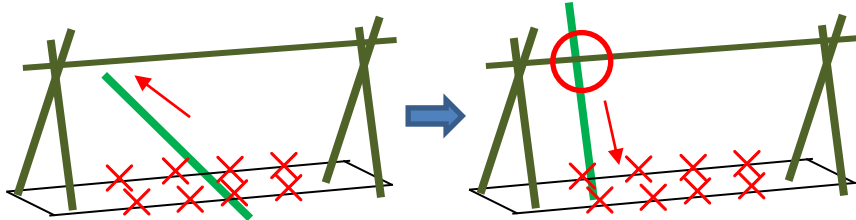


両端は60~80の紐を2本繋げ  
しっかり固定するようにします



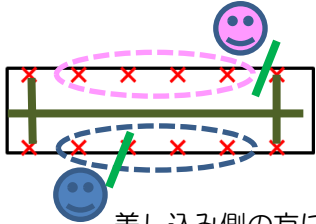
# 体験農園(小牧園)講習会 トマト支柱たて作業要領

## ⑥残りの支柱を立て、ビニール紐で本締めする

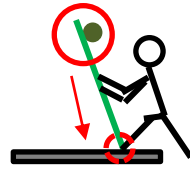


支柱を横棒の下から通す  
※前後のマルチに棒を刺さないよう注意

上の支柱に沿わせながら穴に差し込む



差し込み側の方に立つと効率よく作業できます



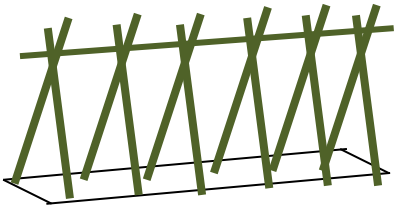
足で支柱を支えながら差し込むと、支柱を曲げずに、効率よく立てられます



ポイント②  
横棒に添わせて差し込む

ポイント①  
縦棒を横棒の下から通す

ポイント③  
足先で支柱を抑える



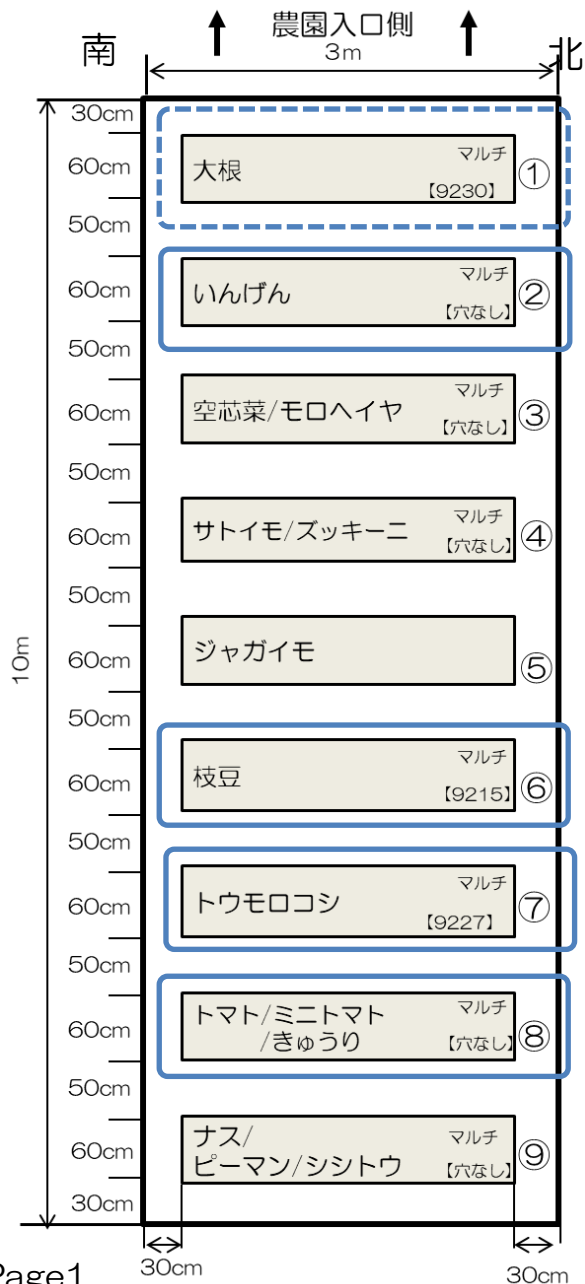
残りの支柱も同様の手順で穴に差し込みます



全ての支柱を立てた後3本まとめてビニール紐で本締めします

手で支柱をゆらし、全体が一律に動くことを確認する。問題なければ、使った道具を片付ける

注：詳細は講習当日の指示に従ってください



□大根 2か所以上発芽しない所はまき直してください

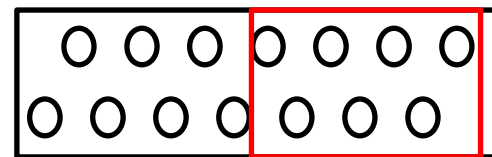
□トウモロコシの種まき(⑦列目)

・種まき1穴2粒(半分/北側)

マルチ穴



種を1か所に固まらないよう、ばらして撒きます



注：穴数は参考です。 → 北

□枝豆のマルチ引き(⑥列目)

→春のマルチ引き資料参照

□いんげんのマルチ引き(②列目)

→春のマルチ引き資料参照

・なるべく本講習会中に完了させてください

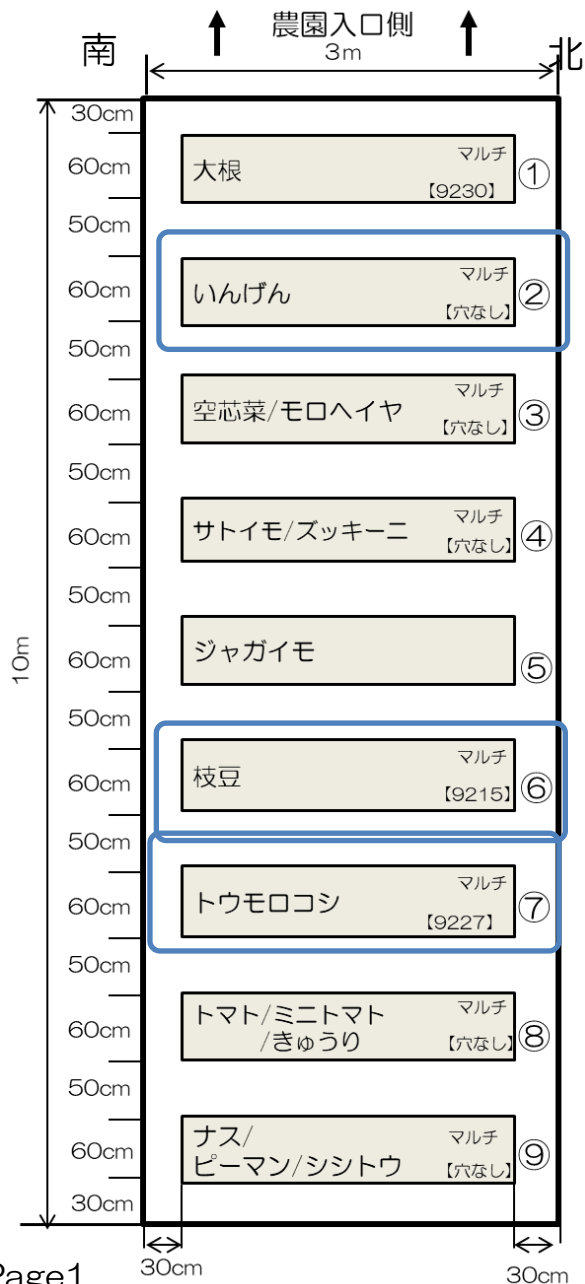
□トマト支柱たて(⑧列目)

継続者 : 希望者は講習時間帯に指導します

新規入園者 : 第3回/第4回講習会にて指導します

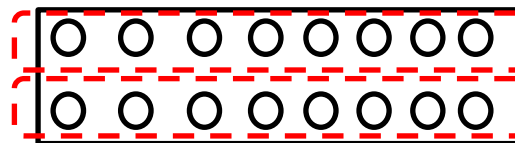
(マルチがひき終わった方)

注：詳細は講習当日の指示に従ってください



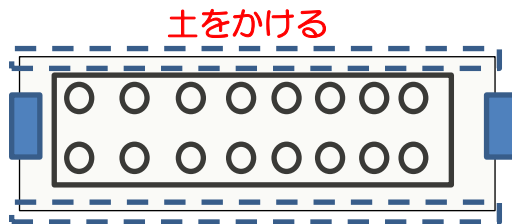
□枝豆の種まき(⑥列目)

- 種まき1穴2粒 (深さ1.5cm程度)



黒豆 (快豆黒頭巾)  
茶豆 (福の泉)

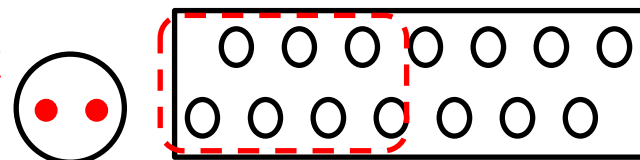
種まき後、鳥避けのためパオパオ(不織布)をかぶせます  
その後、円筒の重しを前後に置き、両端は土をかぶせます



パオパオは各自のコンテナ内にあります。  
重しは各区画2個としてください

□トウモロコシの種まき(品種：おひさまコーン)

- (⑦列目)
- 種まき1穴2粒



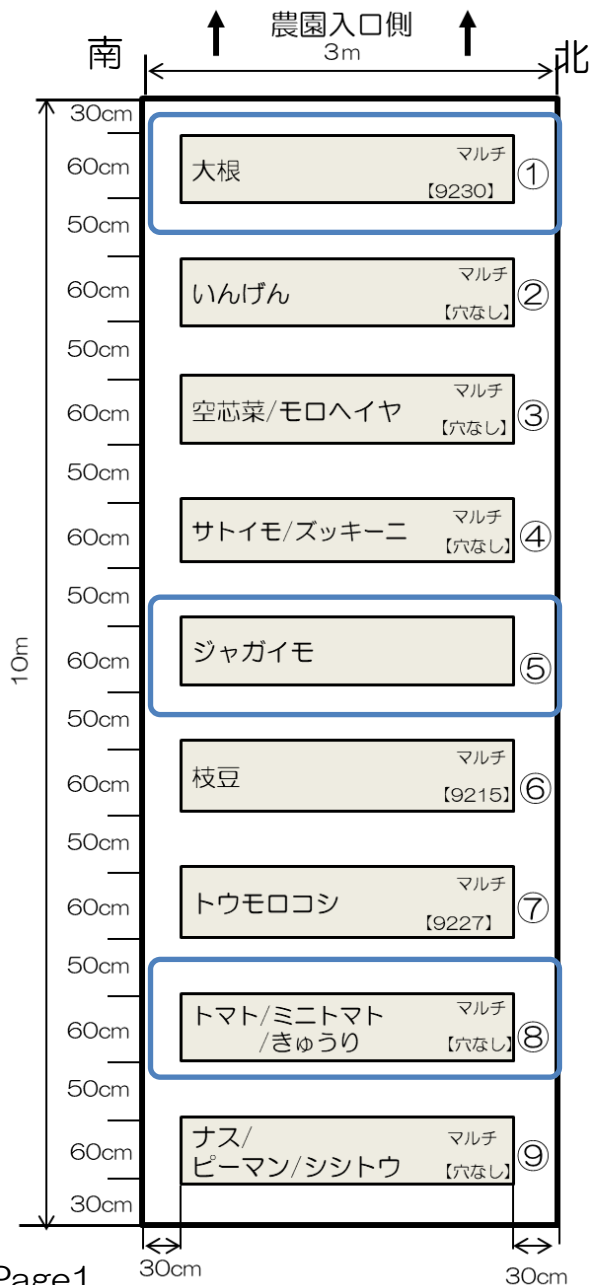
□いんげんの種まき(②列目)

- マルチに穴をあける
  - 種まき(7か所、1穴3粒)
- ※モロッコ/いんげん  
の割り振りは自由とします



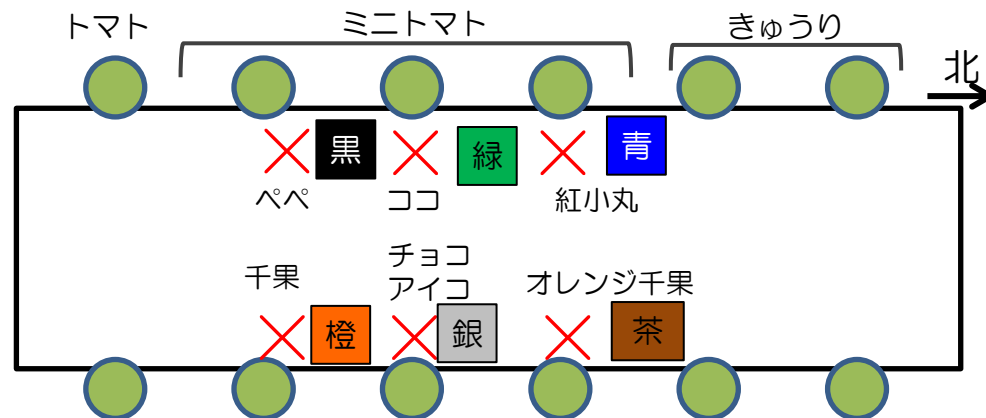


注：詳細は講習当日の指示に従ってください



【ミニトマトの植付⑧列目】

支柱から10cmほど離れた場所に植えます。(赤「×」の箇所)  
花は通路側に向けてください。支柱に直接誘引ください  
位置を間違えないでください



【ジャガイモの追肥】

ジャガイモの周囲に追肥の達人を1杯撒き  
軽く土寄せを行ってください

【大根間引き】

北側から順次2本→1本に間引いてください

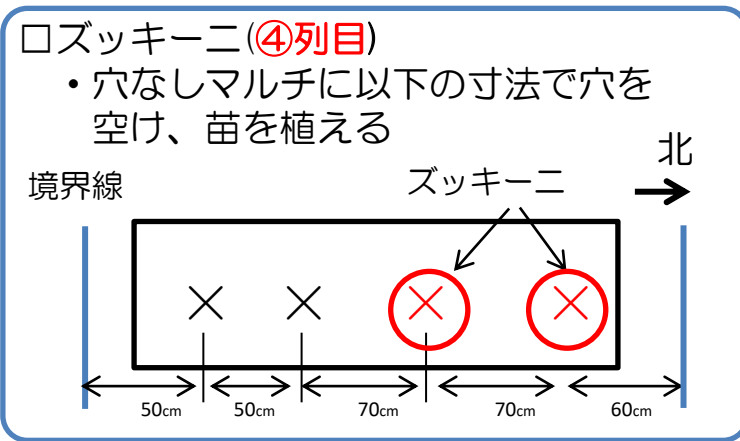
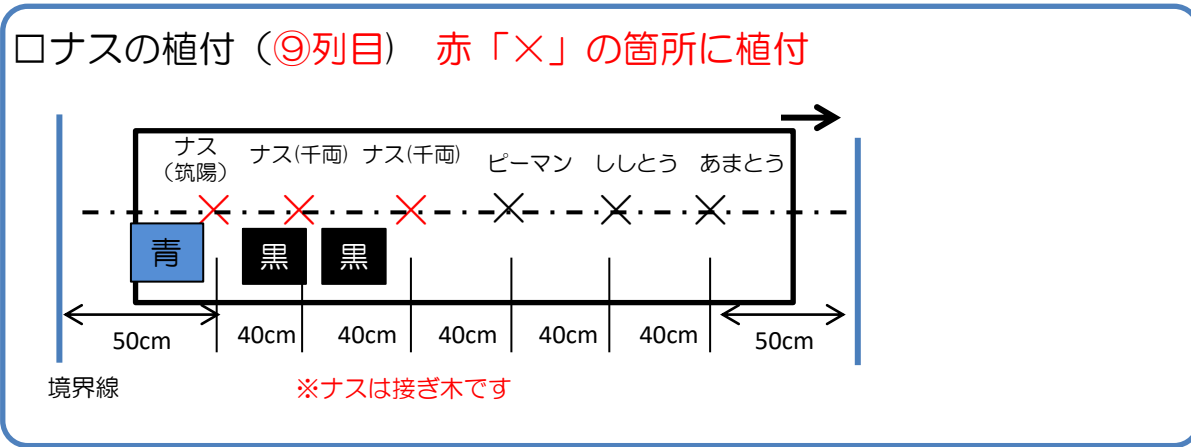
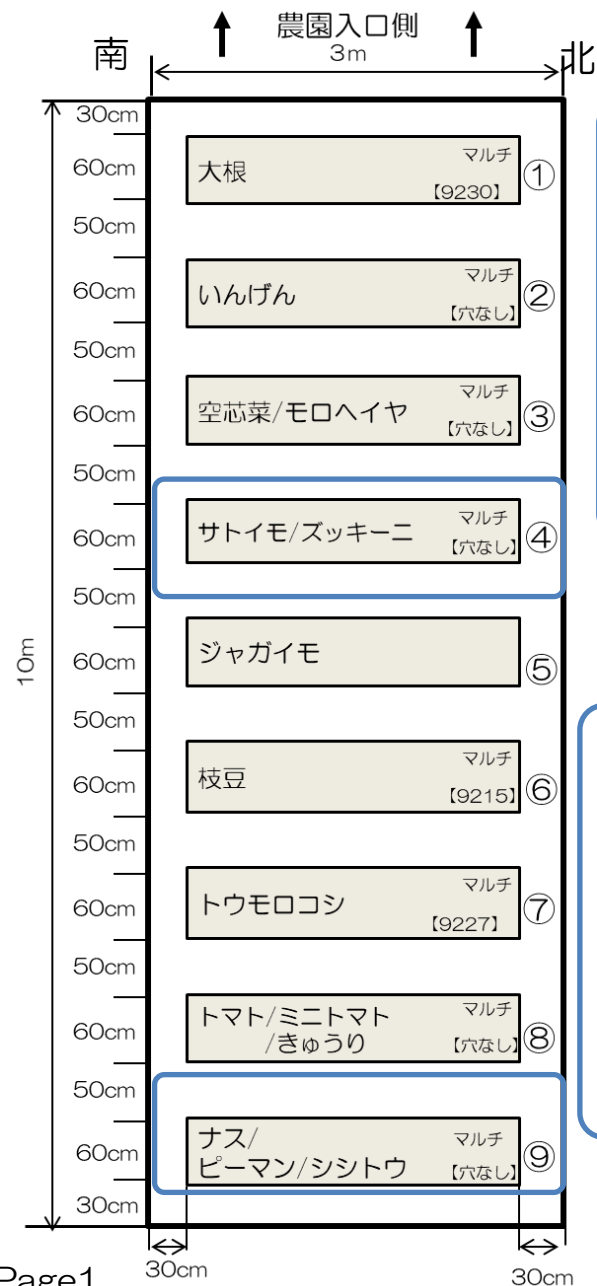
【種まき直し】

枝豆/トウモロコシ(1回目)

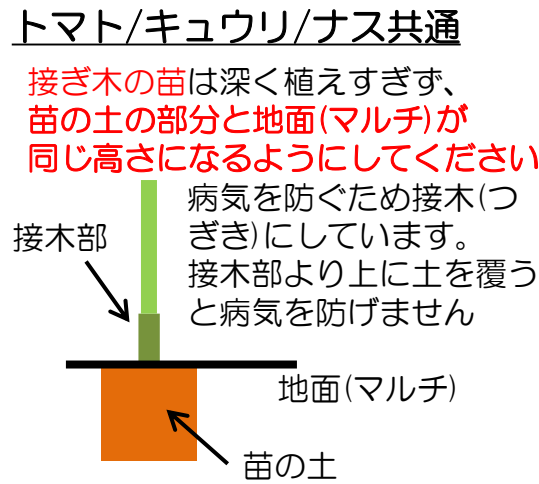
発芽していない箇所はまき直してください。

※トウモロコシ(2回目)、インゲンは少し時間がかかります

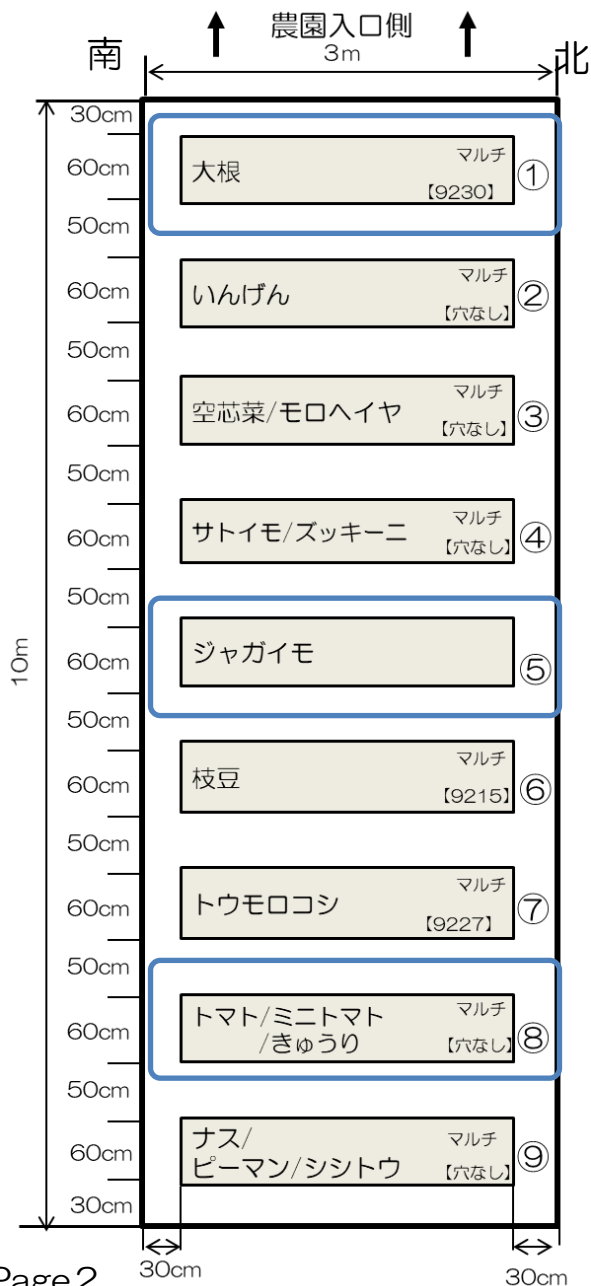
注：詳細は講習当日の指示に従ってください



※ズッキーニ苗のポッドは色が混ざっているので取り間違えに注意ください



注：詳細は講習当日の指示に従ってください

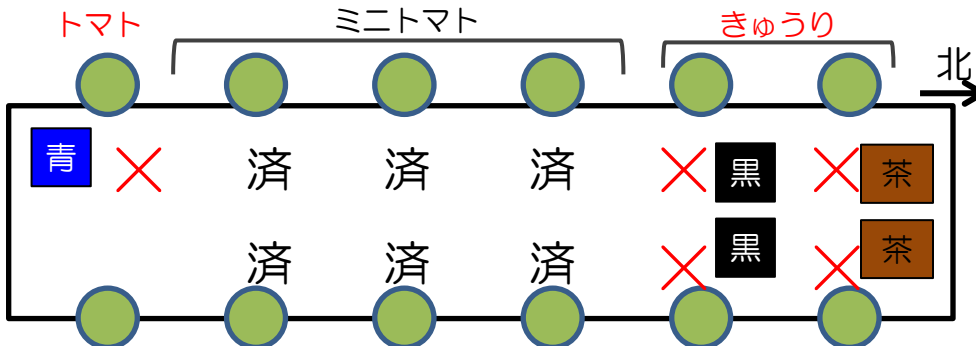


□全般

- 草が生えてきたので随時除草をお願いします。
- 誘引/水やりはしっかり行って下さい(特にナス/きゅうり)
- **以下苗は先週実施していない箇所を行ってください**

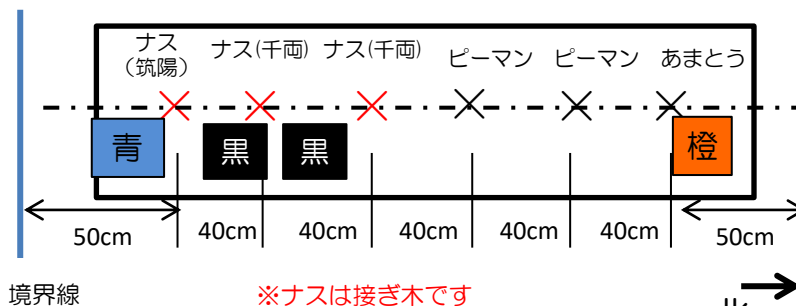
□トマト/きゅうりの植付(⑧列目)

支柱から10cmほど離れた場所に植えます。(赤「×」の箇所)  
 花は通路側に向けてください。支柱に直接誘引ください  
**位置を間違えないでください**



□ナス/ししとうの植付(⑨列目)

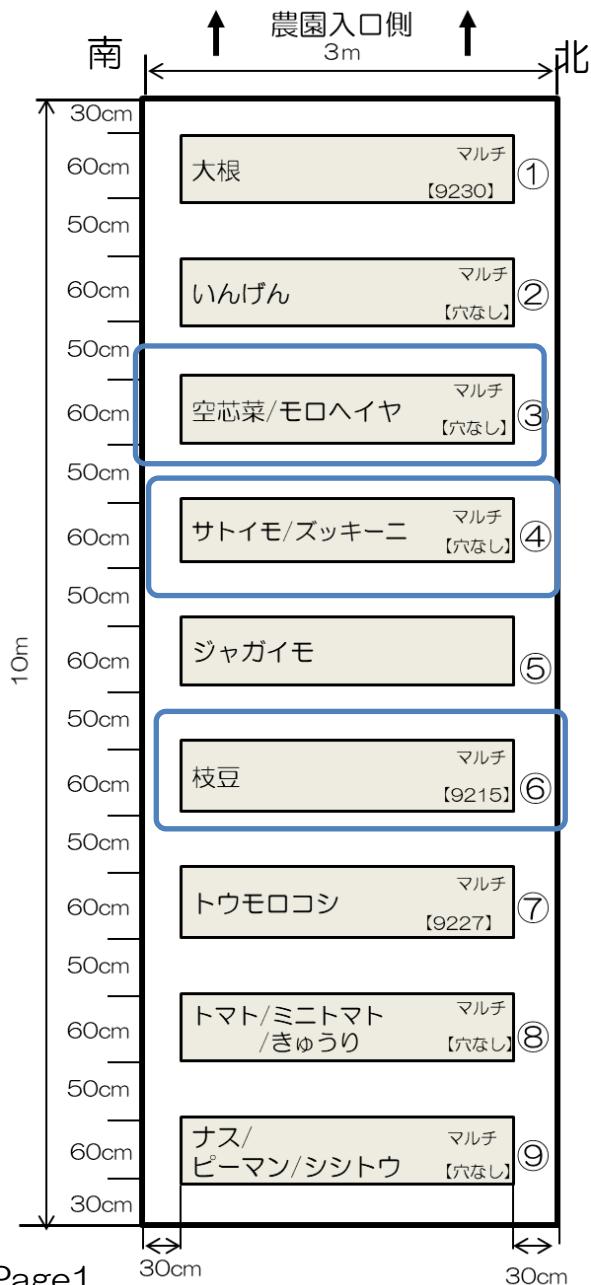
赤「×」の箇所に植付



**トマト/キュウリ/ナス共通**  
 接ぎ木の苗は深く植えすぎず、  
**苗の土の部分と地面(マルチ)が同じ高さになるようにしてください**  
 病気を防ぐため接木(つぎき)にしています。  
 接木部より上に土を覆うと病気を防げません

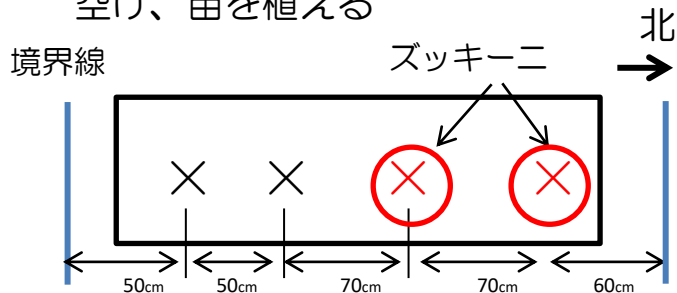
※ナスは接ぎ木です

注：詳細は講習当日の指示に従ってください



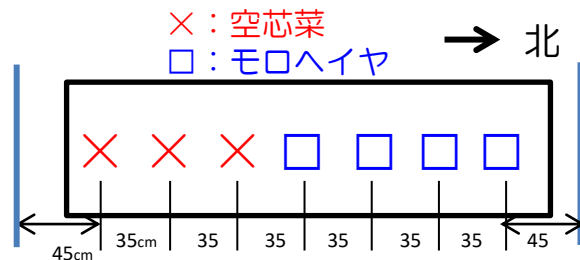
□ズッキーニ(④列目)

- ・穴なしマルチに以下の寸法で穴を  
空け、苗を植える



□空芯菜の植え付け(③列目)

- ・各区画、希望数定植する

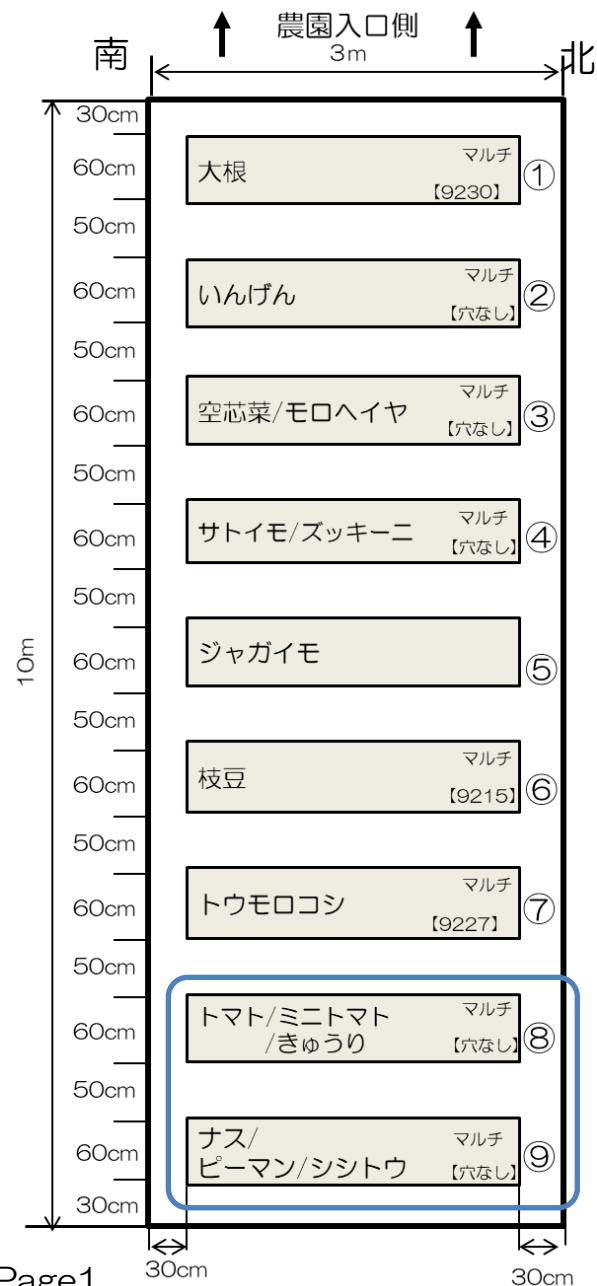


モロヘイヤの希望数により異なります

□枝豆/インゲン/トウモロコシ/大根

- ・発芽していないところは、まき直しを行ってください。
- ・枝豆のパオパオは剥がしたのち、当日中に個人ボックスに  
しまってください。(放置厳禁!!)
- ・大根は適宜間引きを行ってください(4本→2本→1本)

注：詳細は講習当日の指示に従ってください

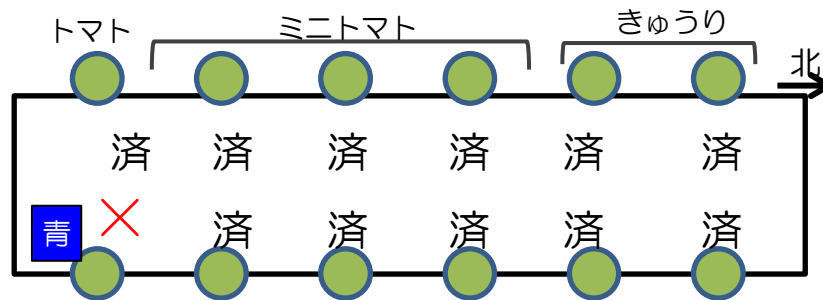


□全般

- 除草/水やり/芽かき(トマト)/ 誘引(トマト/ナス/きゅうり)
- 大根間引き(2本or1本に)/ジャガイモ土寄せ
- 以下苗は先週実施していない箇所を行ってください

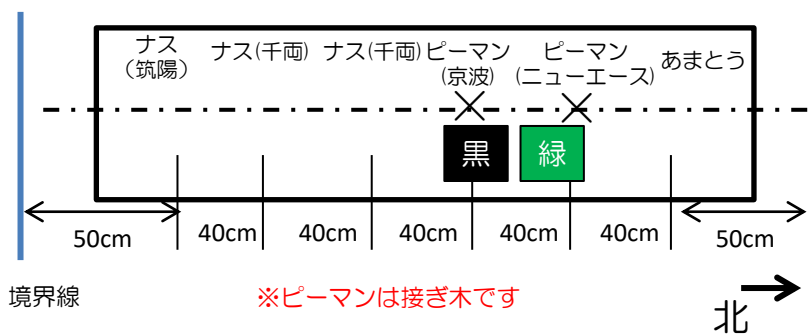
□中玉トマトの植付(⑧列目)

支柱から10cmほど離れた場所に植えます。(赤「×」の箇所)  
花は通路側に向けてください。

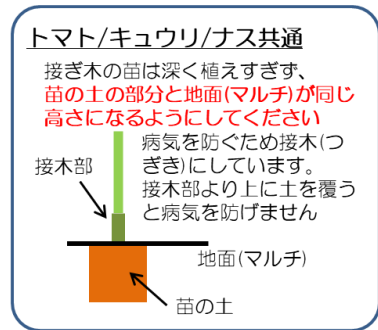


中玉トマト

□ピーマン植付 (⑨列目) 赤「×」の箇所に植付

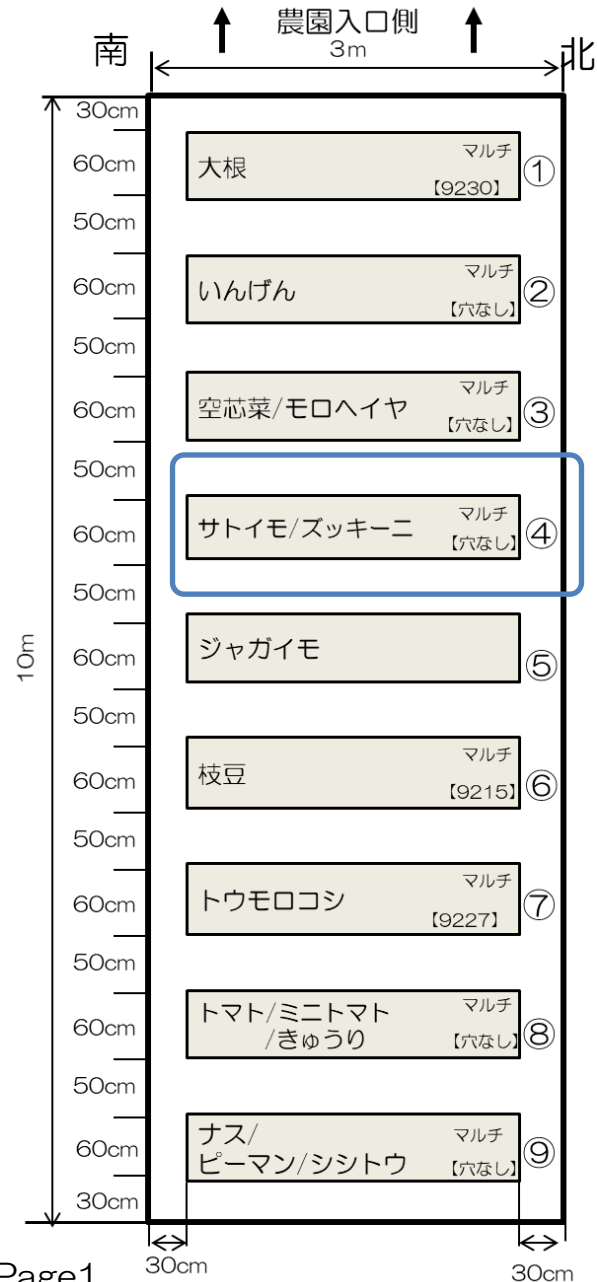


※ピーマンは接ぎ木です



注：詳細は講習当日の指示に従ってください

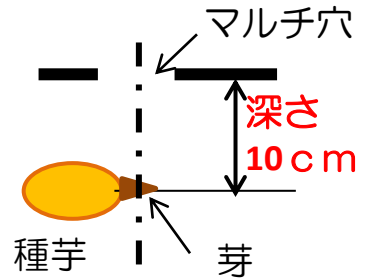
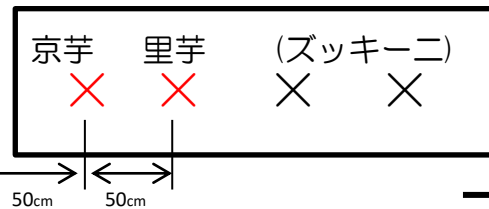
本資料は京芋/里芋をまだ植えていない方のみお持ちください



□京芋/里芋 (④列目)

- ・マルチに以下の寸法で穴を空ける
- ・京芋/里芋→種芋を右図のように植える

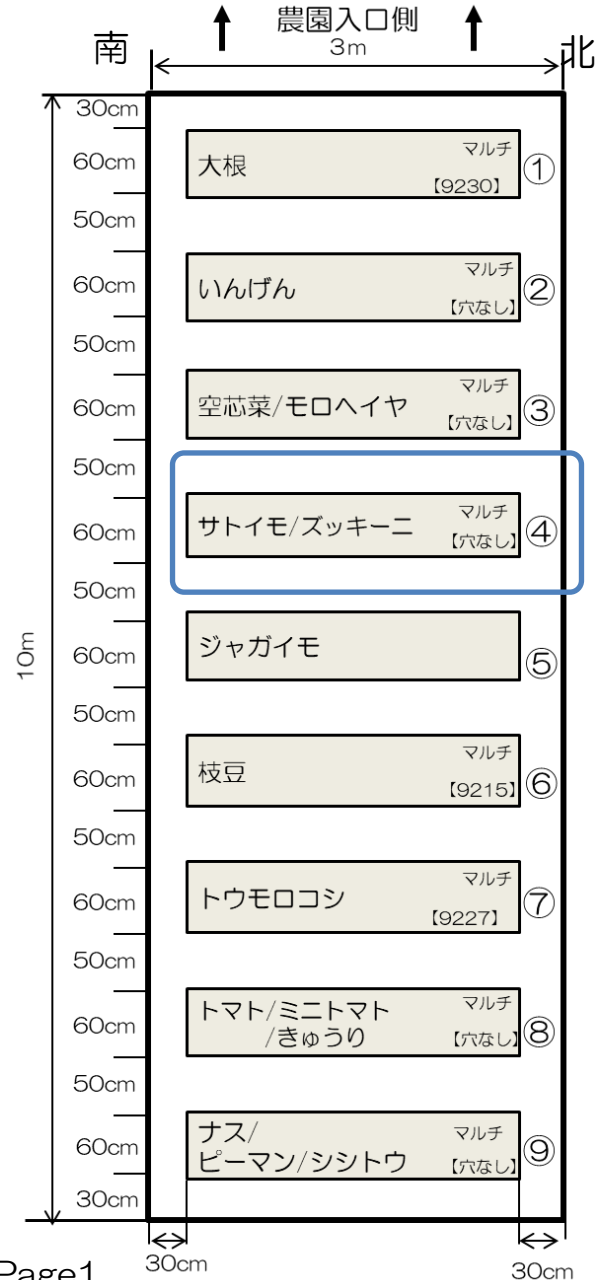
境界線



種芋を横向きにし、芽がマルチ穴の中心にくるように植える

注：詳細は講習当日の指示に従ってください

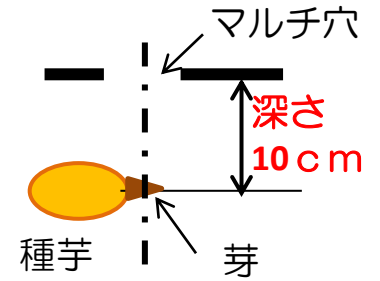
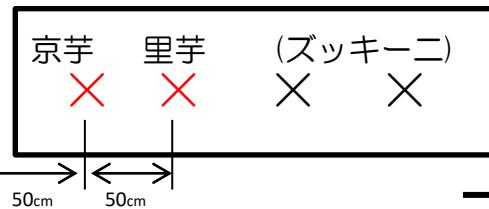
本資料は京芋/里芋をまだ植えていない方のみお持ちください



□京芋/里芋 (④列目)

- マルチに以下の寸法で穴を空ける
- 京芋/里芋→種芋を右図のように植える

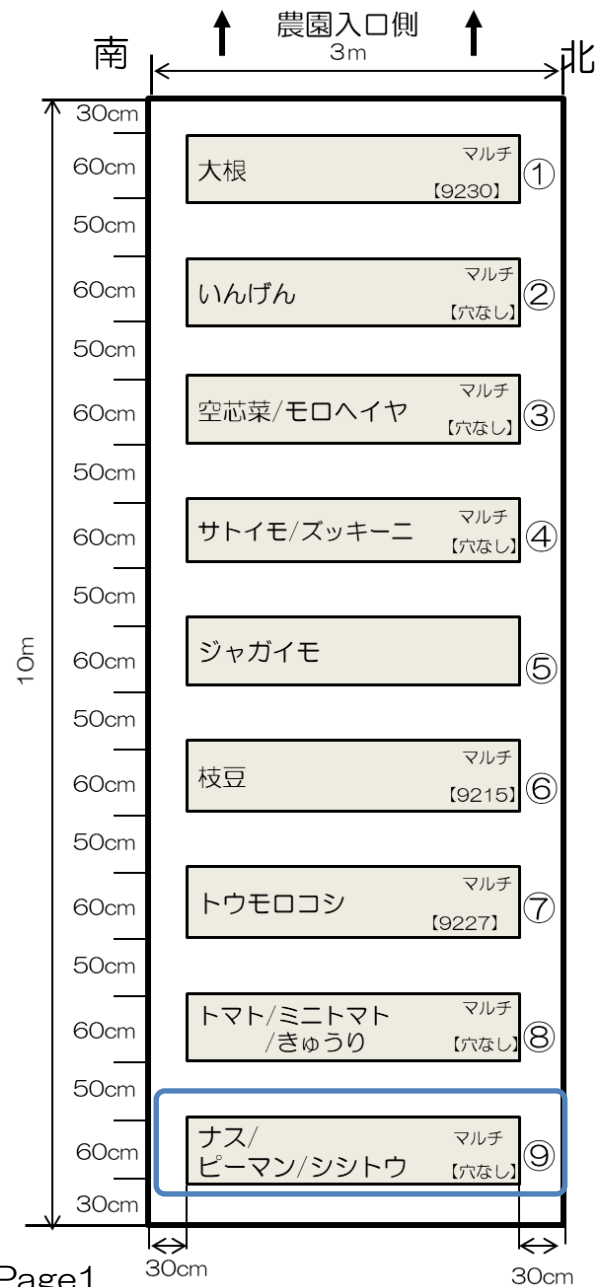
境界線



種芋を横向きにし、芽がマルチ穴の中心にくるように植える

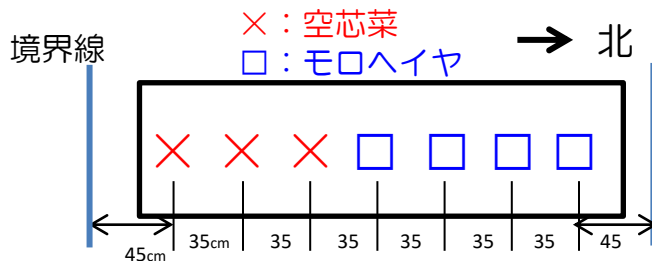


注：詳細は講習当日の指示に従ってください



□モロヘイヤの植え付け(①列目)

・各区画、希望数定植する



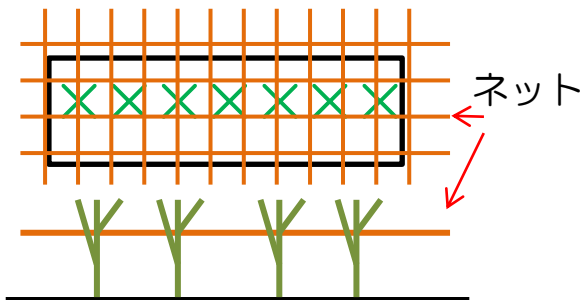
モロヘイヤの希望数により異なります

□ナス列ネットはり

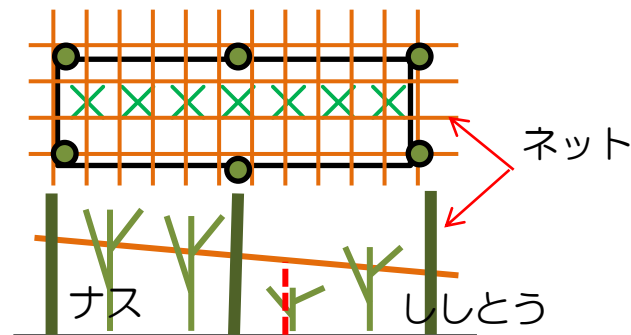
①支柱(74cm/6本)とネットを用意する。

※ネットは支給済みです  
※支柱本数は守ってください

②ネットをナス/ししとう/ピーマンの上に軽く掛ける



③支柱を6本立て、ネットを張る(ピンと張ると落ちてきません)

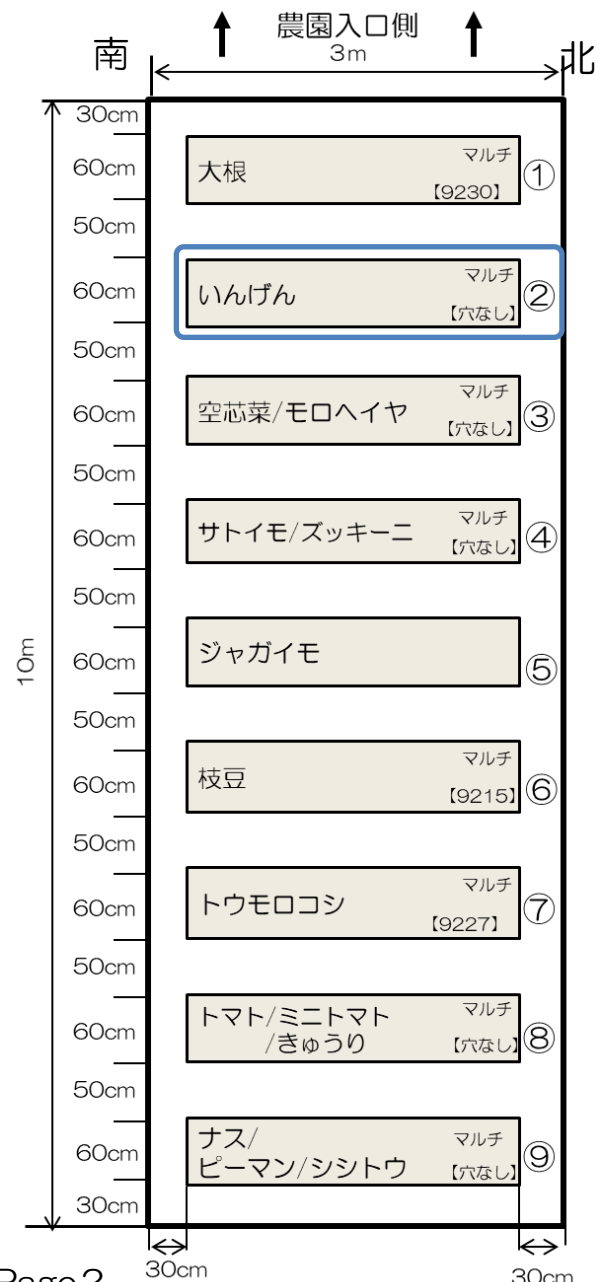


※小さい苗は鉄棒を併用ください

④成長に合わせてネット高さを調整する

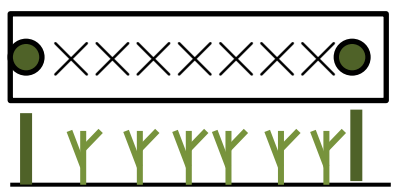


注：詳細は講習当日の指示に従ってください

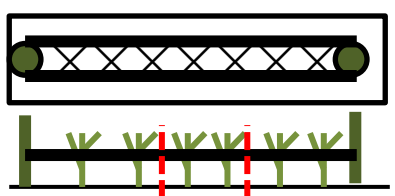


□いんげん支柱立て

- ①支柱(74cm/2本)  
黒ビニール紐を用意する  
※紐は支給済です
- ②マルチの両端に支柱を立てる

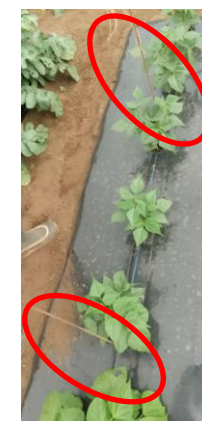


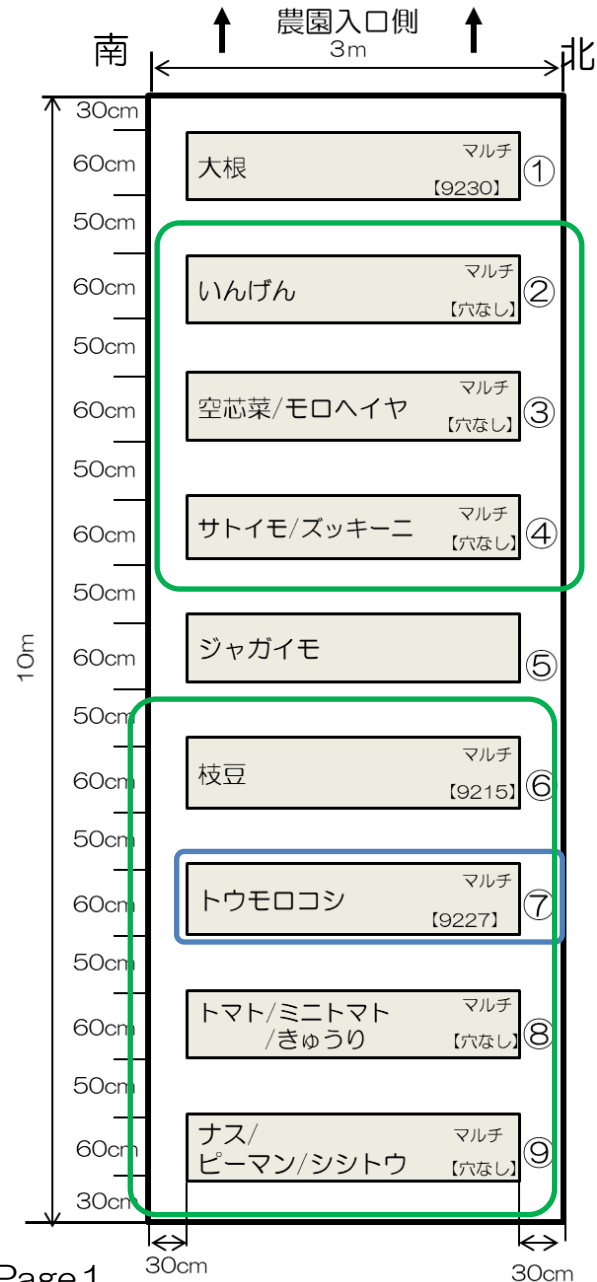
- ③一番小さい苗の高さに合わせ、  
2本のビニール紐を両側から  
挟むようにして支柱に縛る



支柱2本だと  
厳しい場合、  
鉄棒を間に立  
ててください  
支柱は使わな  
いください

- ④苗と苗の間を麻紐で縛る





各自のタイミングで行ってください

□追肥 追肥用肥料 **緑四角部** (大根/じゃがいも以外)

追肥用肥料を**1株1つまみ**撒きます

ボールに入れ、余った肥料は元に戻してください

**多すぎないように注意してください(肥料焼けします)。**



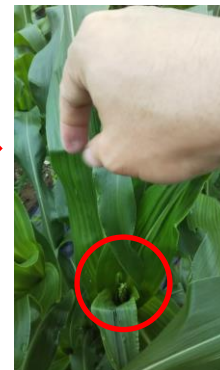
根元に1つまみ  
ずつ追肥します

「1つまみ」はこれくらいです

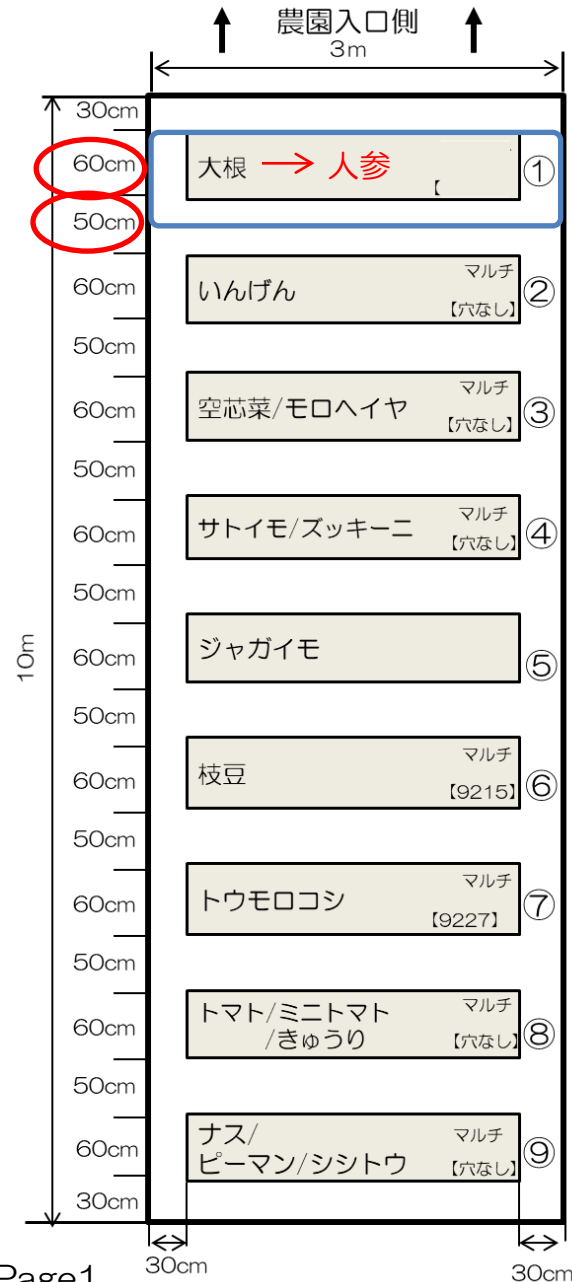
追肥肥料は常設します。月1ペースで各自施肥ください

□トウモロコシ消毒

**穂が出かかったもの**に対し、上方からデナポン粒剤を1~2つまみかけてください。詳しくはハウス内の掲示物を参照ください



各区画の成育に合わせて  
行います

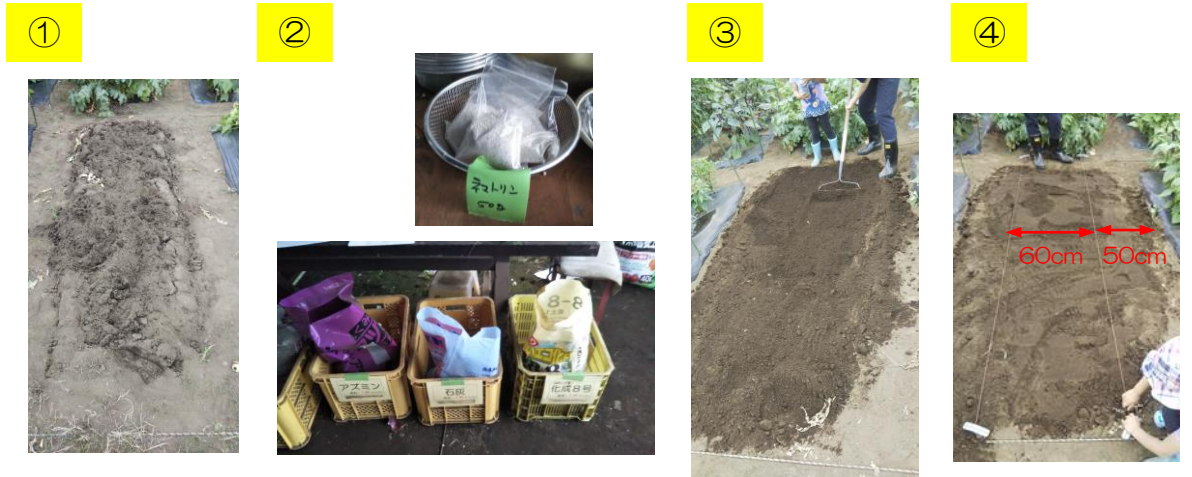


本資料をよく読み、間違い等ないようお願いします。  
 道具・種は数がありません。他に作業者がいる場合は、使ったら都度元に戻すなど、譲り合って作業されるようお願いします。

【人参種まき】

□人参(向陽二号)

- ①大根のマルチを剥がす  
 ※スコップ等を使い、マルチの切れ端を残さないようにご注意ください  
 ※剥がしたマルチはよく乾かしたのち丸くまとめて捨ててください。
- ②肥料類を準備し、肥料用バケツに入れ、よくかき混ぜる
  - ・化成8号/石灰/アズミン 各1杯
  - ・ネマトリン(線虫予防薬) 150g (小分け袋に入ってます)
  - ※ネマトリンの小分け袋は再利用しますのでお戻しください
- ③肥料類を撒き、クワなどでよく耕したのち、レーキ・プラパイプ等で平坦にする
- ④マルチ引き同様、2本の縄を張る (インゲンから50cm/幅60cm目安)





⑥人参筋作成用器具を持ってきます



当農園で自作した器具です(非売品)



6月中は農具置き場横に常設します。使用後は元の場所に戻してください

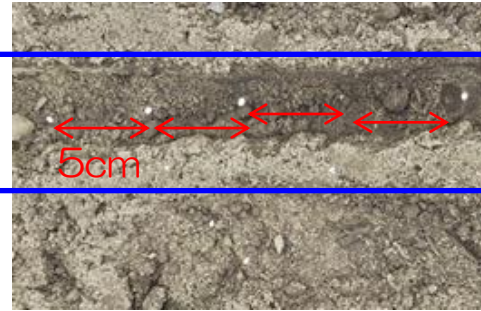
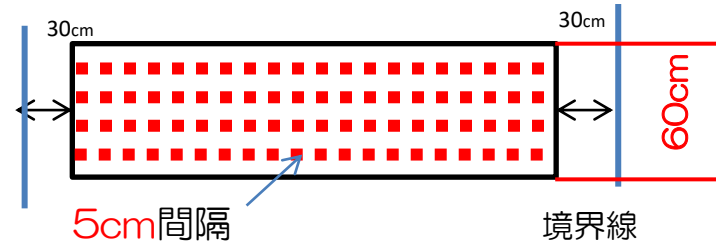
⑥以下の要領で筋を4本作ります



端部を縄と沿わせながら手前に引きます

器具を地面に押し付け4本の筋を作ります

⑦種をもってきて、筋に種をまく  
向陽二号 約5cm間隔/一つぶん

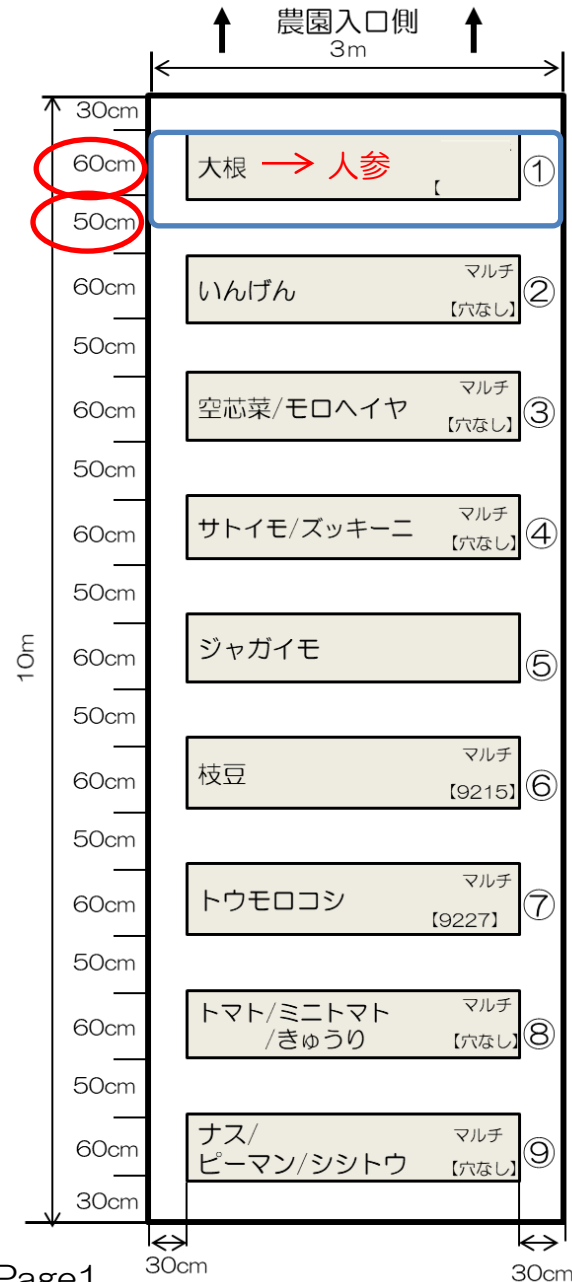


適正量はこれくらいです

⑧種まき後土をかぶせ、カットしたワラを表面に敷く

写真はありません  
置き場所はハウス内に掲示します

作業終了後、水をしっかり撒いてください。また来園毎、必ず水撒きするようにしてください。



本資料をよく読み、間違い等ないようお願いします。  
 道具・種は数がありません。他に作業者がいる場合は、使ったら都度元に戻すなど、譲り合って作業されるようお願いします。

【人参種まき】

□人参(向陽二号)

- ①大根のマルチを剥がす  
 ※スコップ等を使い、マルチの切れ端を残さないようにご注意ください  
 ※剥がしたマルチはよく乾かしたのち丸くまとめて捨ててください。
- ②肥料類を準備し、肥料用バケツに入れ、よくかき混ぜる
  - ・化成8号/石灰/アズミン 各1杯
  - ・ネマトリン(線虫予防薬) 150g (小分け袋に入ってます)
  - ※ネマトリンの小分け袋は再利用しますのでお戻しください
- ③肥料類を撒き、クワなどでよく耕したのち、レーキ・プラパイプ等で平坦にする
- ④マルチ引き同様、2本の縄を張る (インゲンから50cm/幅60cm目安)



注：講習当日の指示に従って作業ください

今が春の最後の講習会です。以後管理・収穫期に入りますが、週に一度は来園くださるようお願いいたします。

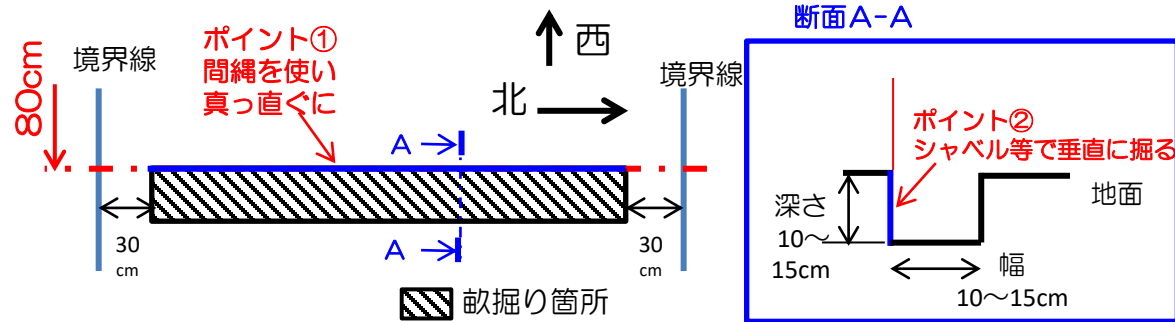
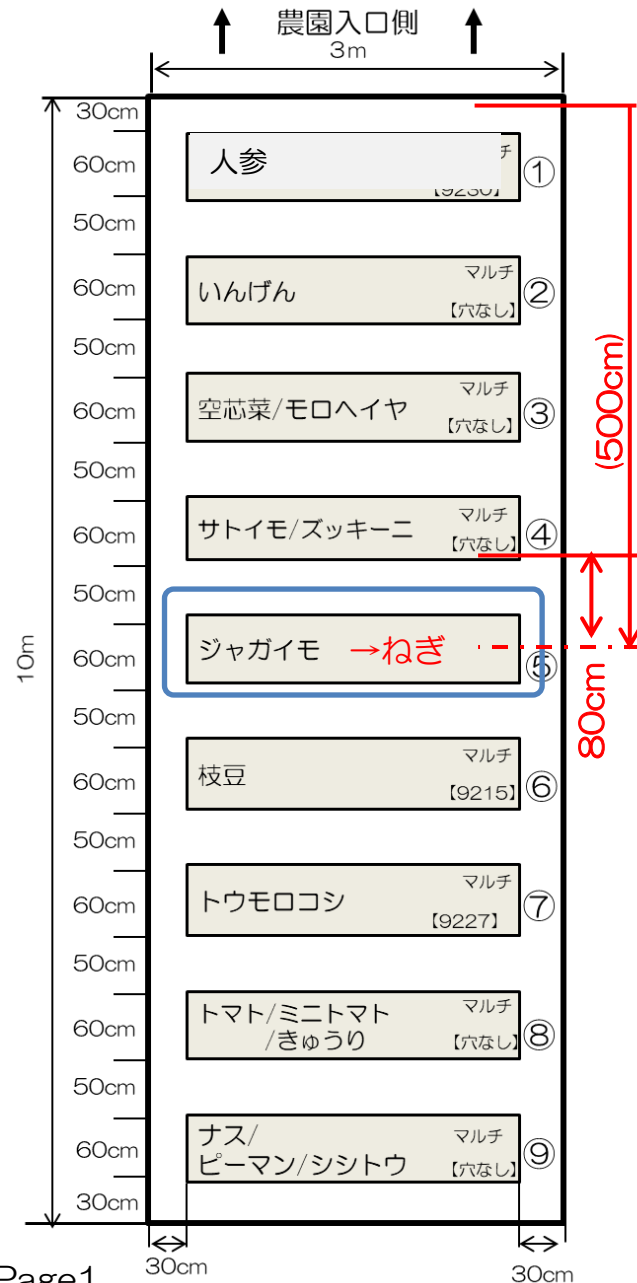
□全般

- ・収穫、管理作業

□ねぎ植付

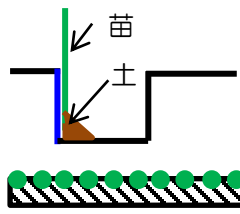
- ・石灰(カルメイト) → **2杯**
- ・化成肥料(化成8号)、アズミン → 1杯
- ・畝掘り → **基準面(青線部)**が曲がらないようにしてください

施肥後よく耕したのち  
平坦にしてください



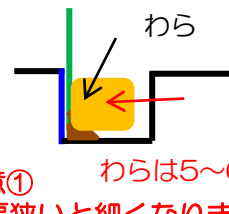
・苗植え

①ねぎの苗を基準面につけ  
根元に土をかけて固定する



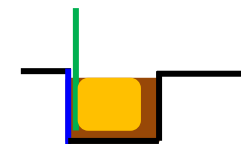
5cm間隔、畝全体に

②わらを畝に入れ、基準面  
側に軽く押し付ける



注意① わらは5~6個です  
間隔狭いと細くなります！

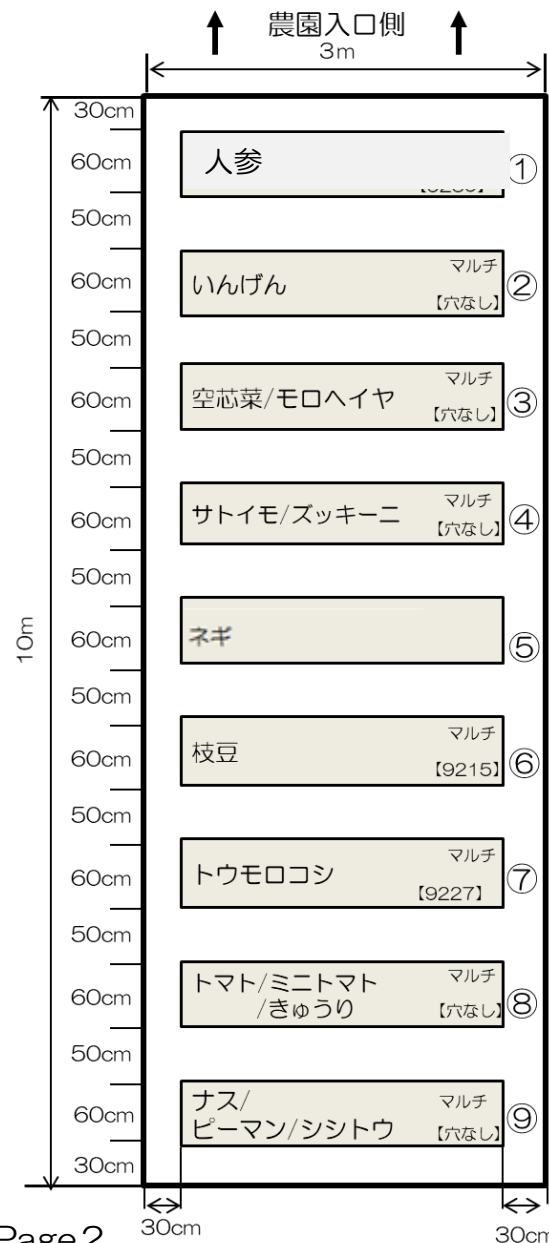
③わらが埋まらない程度  
の深さで土をかける



注意② 土をかけすぎると腐ります



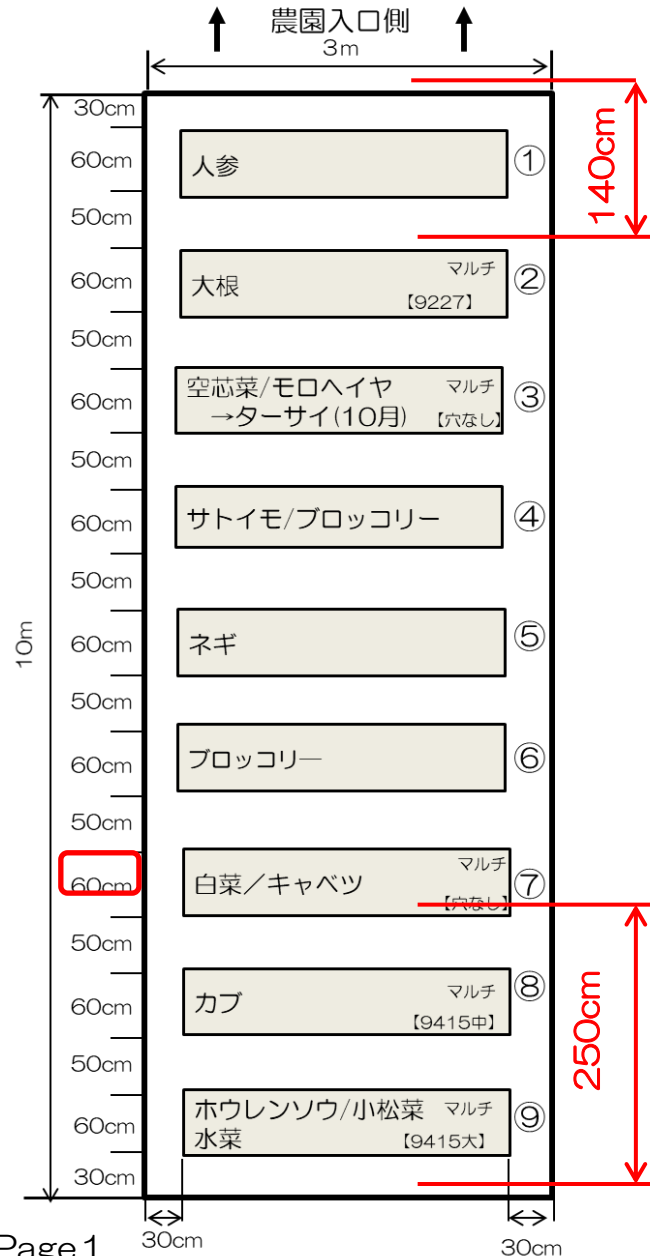
「7月～8月の作業予定」



列番	6月下旬の状態	7月～8月の作業	8月末時点の状態
①	収穫完了	状況に応じ、種まきを行って下さい。	そのまま (生育中)
②	植付済	適宜収穫してください。収穫完了後は、マルチを外し、平らにならしておいてください。	収穫完了 (7月中)
③	収穫可	適宜収穫ください。大きくなりすぎたら一旦バッサリ切り、きれいにしてください。	そのまま (10月まで可)
④	植付済	サトイモ類は成長に合わせ、畝上げを行ってください。ズッキーニは頃合いみて撒収ください。	そのまま (生育中)
⑤	植付済	特にありません 水やり不要です	そのまま (生育中)
⑥	植付済	適宜収穫ください。収穫完了後は、マルチを外し、平らにならしておいてください。	収穫完了 (7月中)
⑦	植付済	適宜収穫ください。収穫完了後は、マルチを外し、平らにならしておいてください。	収穫完了 (7月中)
⑧	収穫可	適宜収穫して下さい	そのまま (9月上旬撤去)
⑨	収穫可	適宜収穫して下さい。	そのまま (9月下旬撤去)

- 注1. 収穫時期、消毒情報は、一斉メールにてお知らせします  
 注2. 除草などの管理は適宜行ってください  
 注3. 使用済みマルチはルール通りに破棄ください  
 (乾燥→泥を落とし→小さくして捨てる)

秋は4枚のマルチをひきます  
8月末を目途に2枚のマルチをひいてください



□大根(②列目)

- 施肥：化成8号、石灰、アツミン 各1杯(約200g)  
(注)大根のみ化成8号です
- マルチ9227をひく

□白菜/キャベツ(⑦列目)

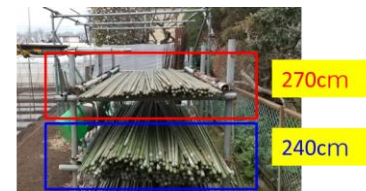
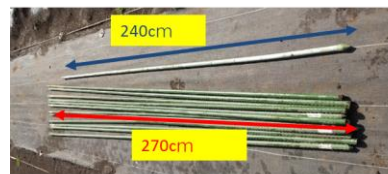
- 施肥：野菜名人、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
- 穴なしマルチをひく  
(注)できるだけマルチ幅60cmを確保するように!  
幅が狭いと白菜/キャベツがぶつかります

※⑧列目、⑨列目のマルチは9月頭に準備します

注1：マルチはよく乾かしてからしっかり泥を落とし写真のように小さく丸くまとめてから捨ててください



注2：⑧トマト列を撤去する場合、支柱は長さ別に片づけてください、ビニール紐は燃やせるゴミに捨ててください



→ 北(農具庫側)



天候等の様子をみながら8月中に実施ください

□大根の準備(⑤列目)

- 化成8号1杯、石灰1杯、アズミン1杯
- 施肥後よく耕す
- マルチ9227をひく

□白菜/キャベツの準備(①列目)

- 野菜名人1杯、石灰1杯、アズミン1杯
- 施肥後よく耕す
- 穴無しマルチをひく(幅は60cm確保してください)

マルチはよく乾かしてからしっかり泥を落とし、コンパクトにしてから捨ててください

使用済マルチ

乾燥させ、付着した泥をしっかりと落としたのち、ポット穴に入れる(泥を落とすと穴からはみ出ません)

燃やせるゴミ

- マルチ切れ端
- スズランテープ
- 割りばし
- 麻ひも

どちらに捨ててもかまいません

はみ出なくなるまでしっかり泥を落とししてください(写真ははみだしの例です)

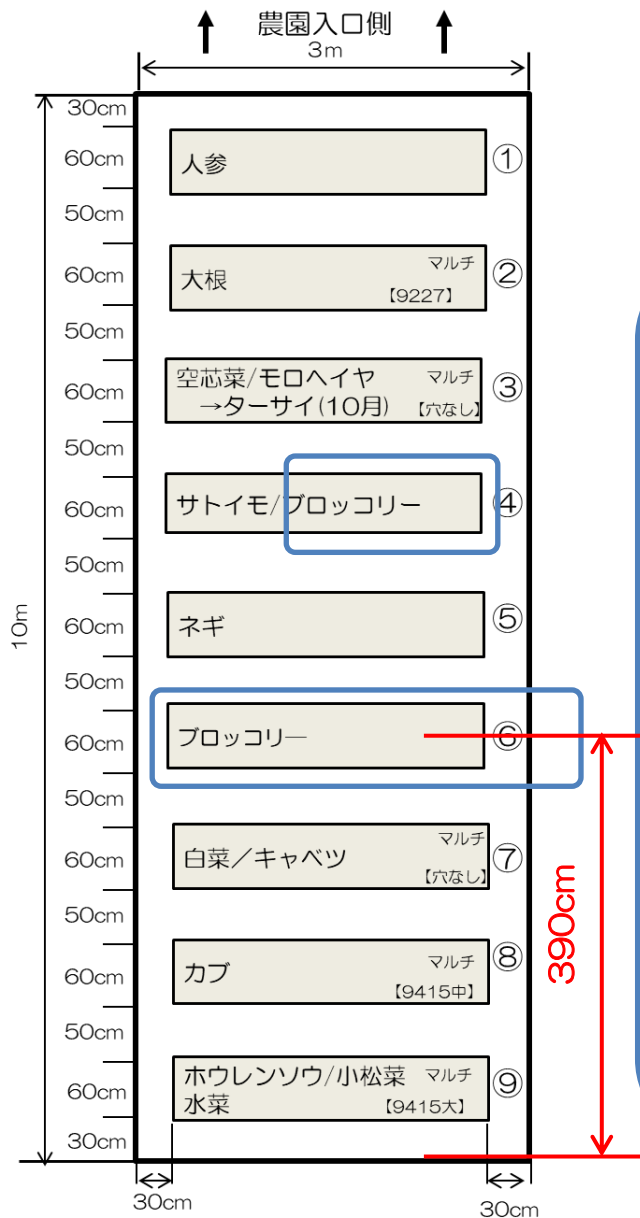
理想な状態

□その他

列⑧トマト類は9月上旬、列⑨ナス類は9月下旬を目安に撤収ください。9月中旬以降、カブ、葉物の種まきを行います。

- トマト支柱を片付ける場合、240cm→中段、270cm→上段にしまってください

ビニール紐は燃やせるゴミに捨ててください



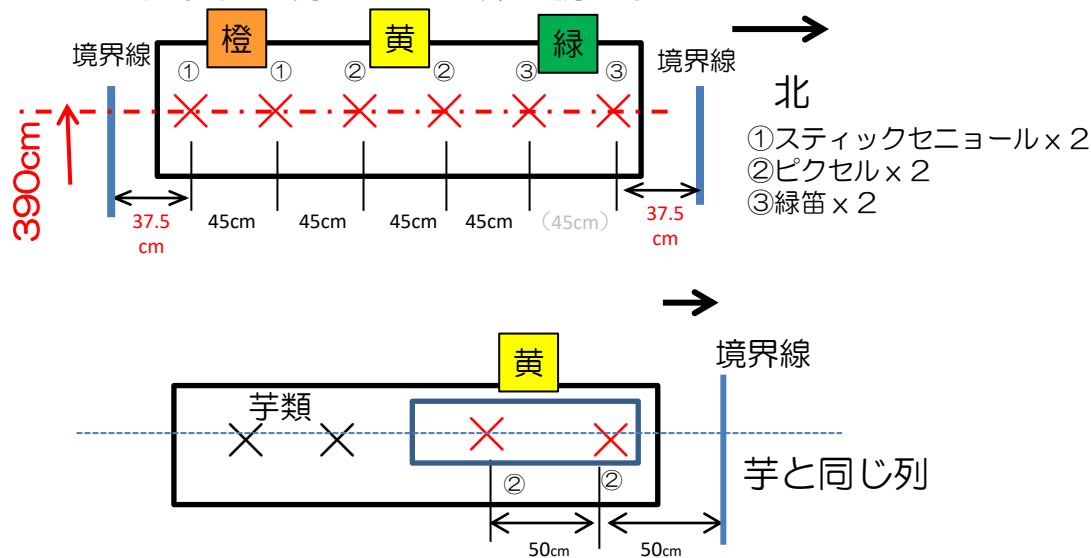
### 秋の苗定植時の注意事項

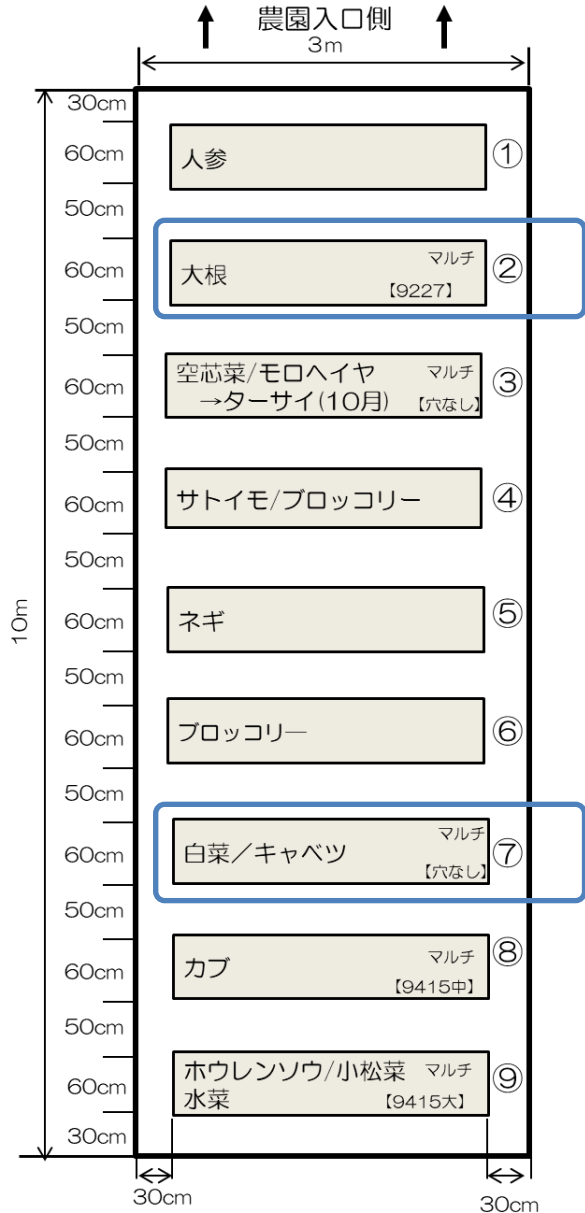
- 秋の作物の苗は**深植えします**  
※夏のトマト/きゅうりの指示と異なるので注意
- ポット類は水で洗って返却ください



### □ブロッコリーの定植(④⑥列目)

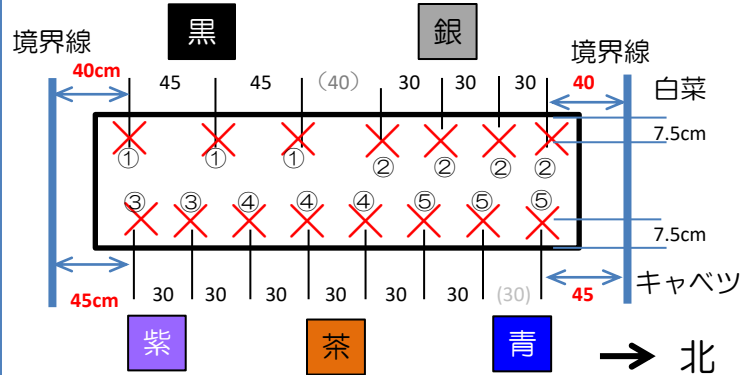
- ④⑥のマルチをはがす
- 施肥：野菜名人、石灰、アツミン  
よく耕して混ぜ込む **列④は各1/2杯 列⑥は各1杯**
- ブロッコリーの苗(3種類)を定植する  
定植後、成育したら鉄棒に誘引する





□白菜/キャベツの定植(⑦列目) 赤×部

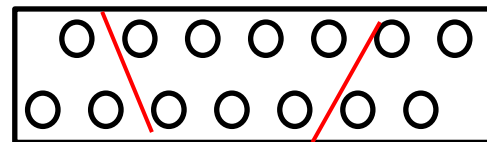
- 施肥/マルチひき (野菜名人、石灰、アツミン 各1杯)
  - マルチに穴をあけ、キャベツ/白菜を植え付ける
- マルチ引きで使用する縄を使い、キャベツ列-白菜列の間隔を十分にとるようにしてください



- 白菜列
  - ① オレンジクイン(黒) × 3
  - ② ミニ白菜(銀) × 4
- キャベツ列
  - ③ コールラビ(紫) × 1
  - ④ 金系201(茶) × 2
  - ⑤ 金春(赤) × 2

□大根の種まき(②列目) 9/18までに撒いてください

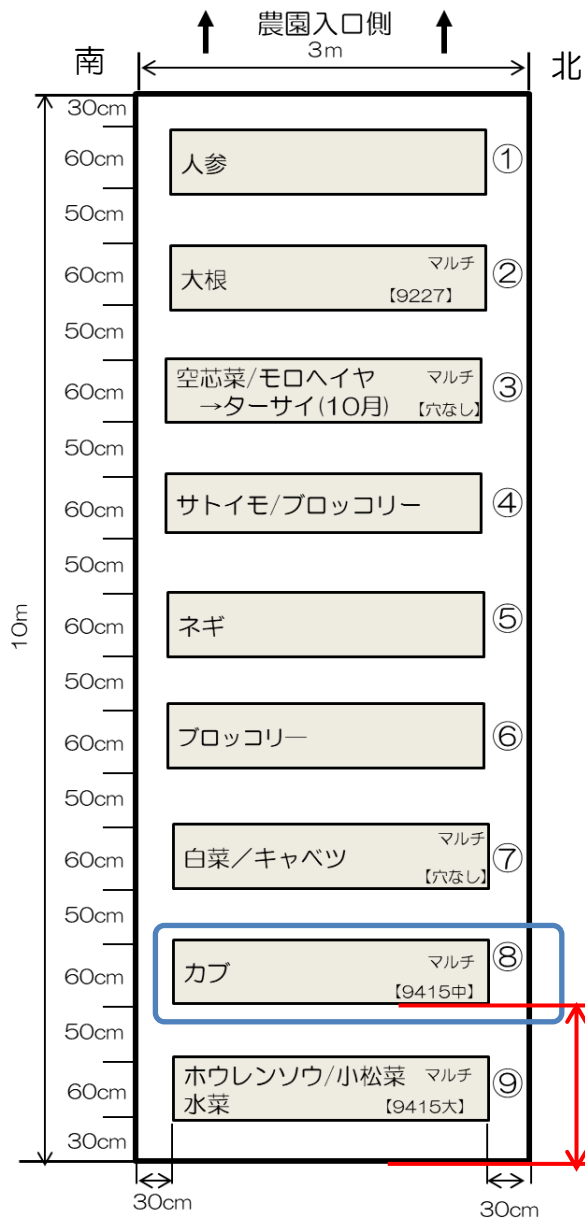
- 種まき(1穴4粒)
- ※目安: 聖護院3~4、三浦3~4、残り青首



聖護院 青首 三浦 → 北

※本図は配分の目安です。  
穴の数はマルチの引き方で異なります

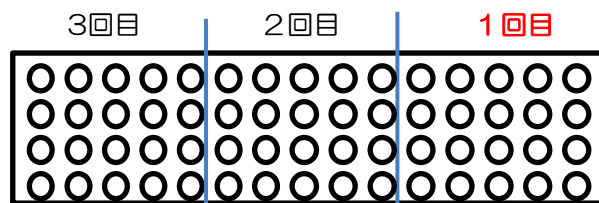
大根の配分(数の変更、種類の変更)は、各区画の好みで  
変えていただいて構いません。



□カブの種まき(⑧列目) 9月末までに撒き切って行ってください

**雨天時不可です**

- ・施肥(野菜名人/石灰/アズミン 各1杯)後、うね全体を耕す
- ・マルチ9415をひく (注)表面を平坦にしないと種が水没します
- ・種まき(1穴4粒)  
2~3回に分ける方、必ず北側から撒くようにしてください  
(1回に全部撒いてもかまいません)



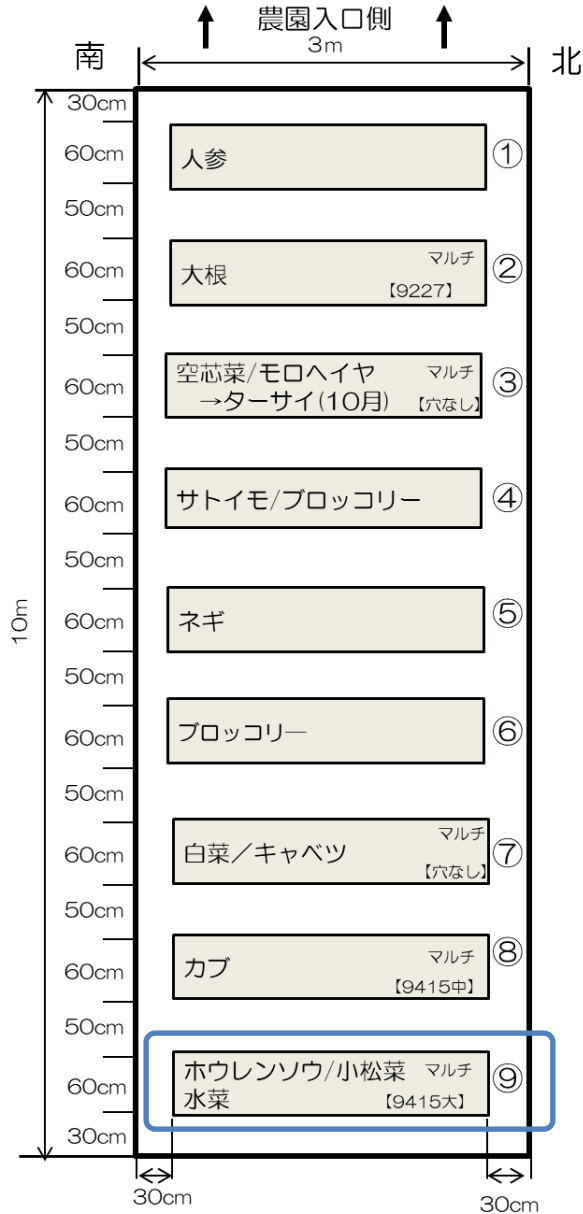
1度に全部撒いても  
2~3回に分けて撒いても  
構いません

→ 北

※上記は3回に分ける例です

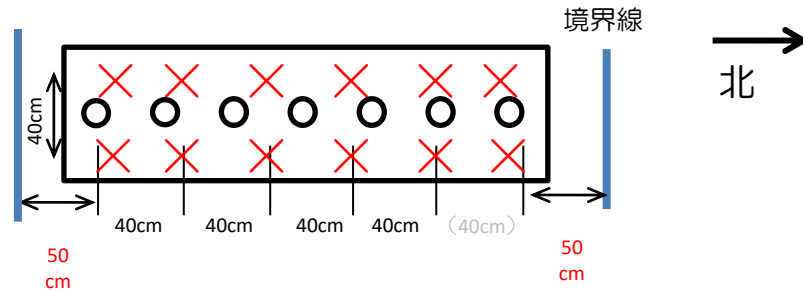
※穴数はマルチの引き方で異なります





□ターサイ植付(③列目)

- 空芯菜/モロヘイヤを撤去 **マルチはそのまま使用します**
- マルチの×部に穴をあける
- 施肥(野菜名人1杯、石灰1杯)  
穴から施肥し入れ、鉄棒などで肥料をかき混ぜる
- **12か所植え付けます**



□葉物の種まき(⑨列目) 10/7~種まき可能です

**ナス列撤去後行ってください**

ナスのネットは各自BOXにしまってください

- 施肥(野菜名人/石灰/アズミン 各1杯)後、うね全体を耕す
- マルチ9415をひく (注)表面を平坦にしないと種が水没します
- 種まき(1穴4粒)

